



令和5年5月吉日

各 位

四條畷学園短期大学
教学委員長 工藤真由美

学生による「授業評価アンケート」の実施について

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。
本学では授業改善・教育力向上に向け、授業評価アンケートの実施に取り組んでおり、今年度の実施をお願いする次第です。

授業評価アンケートは、授業到達目標の達成度（学修成果）を基準にして、学生・教員双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にすることを目的としております。また、中間アンケートを実施することで、授業の課題・改善点を浮き彫りにし後半の授業に反映させることで、学生の授業への参加意識を高め、授業到達目標の達成度を高めるねらいがあります。

なお、授業評価アンケート結果に基づく「授業評価アンケート報告書」のご作成と、本学ホームページでの公開も予定しております。あらかじめご了承ください。

何卒趣旨ご理解の上、ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。なお詳細・日程につきましては、別紙『授業評価アンケート実施要領』をご覧ください。

授業評価アンケート実施要領

教学委員会

ねらい

- 学生の満足度による授業評価ではなく、授業の到達目標の達成度（学修成果）を基準に
学生・授業担当者双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にする
- 中間アンケートの導入により、学生の授業への参加意識を高める

授業評価アンケート 実施対象

- 専任教員： 担当授業科目のうち 任意の2科目（又は同一科目2クラスでも可）
非常勤教員： 担当授業科目のうち 任意の1科目＝1クラス

※注 複数の授業担当者が15回授業の途中で交代するオムニバス授業は、中間アンケートの結果が反映されないので授業評価アンケートの対象から除外

実施スケジュール

4/6～	授業1回目～	授業の到達目標の周知 ・シラバス記載の到達目標（授業終了段階で、学生にできるようになってほしい事柄）を学生に明確に示す
5/27～ 6/9	授業8回目頃	授業評価「中間アンケート」の実施 ★1 1. アンケート用紙を授業担当者が学生に配布 （事務室で必要枚数を受け取って下さい） 2. 学生が回答した用紙を授業担当者が回収 *教学委員会に提出は不要です 3. 翌回、学生の意見・要望等をフィードバック、 授業改善に活用する
7/3～ 7/15	授業14～15回目	授業評価アンケートの実施 ★2 ・学生がユニパにログイン、回答する ・アンケート集計結果の閲覧期間 <u>7/20～8/31</u> *システム上、学生は結果を閲覧できません
8/24 〆切	成績評価後	授業評価アンケート報告書の提出 ★3 ・授業担当者がユニパにログイン、回答する

★1～3 時期が近づきましたら、ユニパ配信でお知らせする予定です

《中間アンケート》

- 問1 この授業の良い点を具体的に述べて下さい。
- 問2 この授業について改善してほしい点を具体的に述べて下さい。
- 問3 あなたは、授業中の分からないことや不明な点を質問したり調べたりしましたか。
1. そう思う
 2. ややそう思う
 3. あまり思わない
 4. そう思わない

《最終アンケート》

- 問1 中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたか。
1. そう思う
 2. ややそう思う
 3. あまり思わない
 4. そう思わない
- 問2 この授業は、積極的な参加を促すための工夫（質疑応答、課題の発表、グループワーク、コメントペーパーなど）がされていましたか。
1. そう思う
 2. ややそう思う
 3. あまり思わない
 4. そう思わない
- 問3 この授業の予習・復習および課題に当てた時間は、1週間でどのくらいですか。
1. 2時間以上
 2. 1～2時間
 3. 30分～1時間
 4. 30分未満
- 問4 この授業のシラバスに示されている到達目標をどの程度達成できたと思いますか。
1. ほとんど達成できた（90～100%）
 2. Bかなり達成できた 80～89%
 3. 少し達成できた（70～79%）
 4. あまり達成できなかった（60～69%）
 5. ほとんど達成できなかった（59%以下）

《授業評価アンケート報告書》

（各欄 300 字以内）

- 問1 この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。
- 問2 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。
- 問3 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい（今後の課題も含む）。



授業評価アンケート（中間アンケート）

このアンケートは、履修生の学修成果を上げるため、授業をより良くする目的で実施するものです。記述内容は成績評価に関係しません。

問1 この授業の良い点を具体的に述べて下さい。

問2 この授業について改善してほしい点を具体的に述べて下さい。

問3 あなたは、授業中の分からないことや不明な点を質問したり調べたりしましたか。（あてはまるもの一つに○をつけて下さい）

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない



授業評価アンケート（中間アンケート）

令和5年6月吉日

各位

四條畷学園短期大学
副学長・教学委員長 工藤真由美

授業評価アンケートの実施および報告書ご提出のお願い

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今期授業も終了に近づいて参りました。「中間アンケート」を実施した科目（クラス）につきまして、授業評価アンケートの実施を下記の通りご案内申し上げます。

校務ご多忙の折大変恐縮ではございますが、授業改善・教育力向上に向けご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

記

実施期間 : 授業回数 14 回目もしくは 15 回目 (7/3~7/15 補講の場合含む)
※年間行事予定・ユニパの出欠管理で授業回数の確認ができます

実施対象科目 : 「中間アンケート」を実施した科目（クラス）

実施方法 : p2 マニュアル : 学生用【授業評価アンケートの回答方法】参照
※授業評価一覧には、学生の履修授業がすべて表示されます。
教員の指示する授業科目のみに回答させて下さい。

結果の閲覧 : p3 マニュアル : 教員用【授業評価アンケートの閲覧・授業評価アンケート報告書の回答方法】参照
※実施科目以外の科目名が表示される場合がありますが、学生が間違えて回答したものです。学生は結果を閲覧できません。

※授業評価アンケート

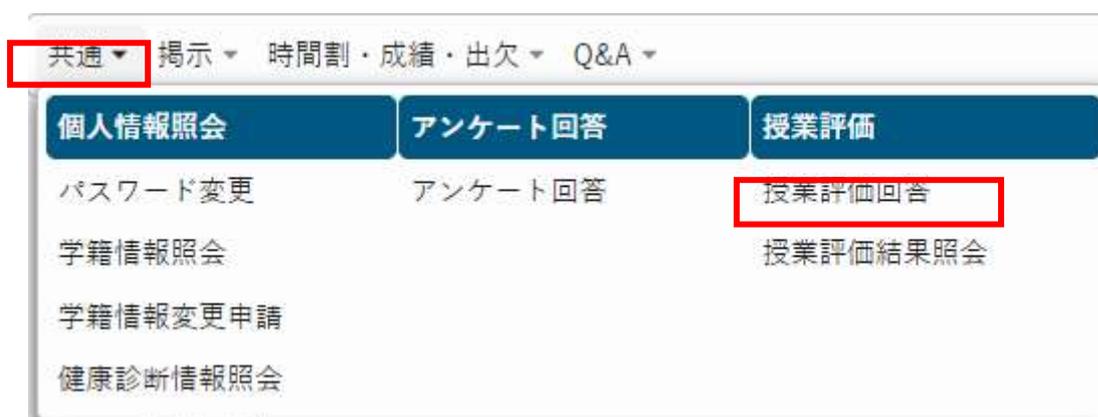
結果 閲覧期間 : 7/20(木)~8/31(木)

報告書 作成期限 : 8/24(木)

※ユニパのアンケートに回答する形での報告書作成となります。授業評価アンケートの結果について、中間アンケート・学生の成績（学修成果の状況）と関連づけ、ご考察下さい。

学生用 【授業評価アンケートの回答方法】

- ①パソコンまたはスマートフォンから UNIPA へログインします。
- ②「メインメニュー」⇒「共通」⇒「授業評価回答」を選択します。



- ③回答する「授業科目名」をクリックします。
- ④アンケート内容が表示されますので、全ての問いに回答してください。
- ⑤すべての回答が終了したら、下部にある「回答」ボタンをクリックしてください。



UNIVERSAL PASSPORT

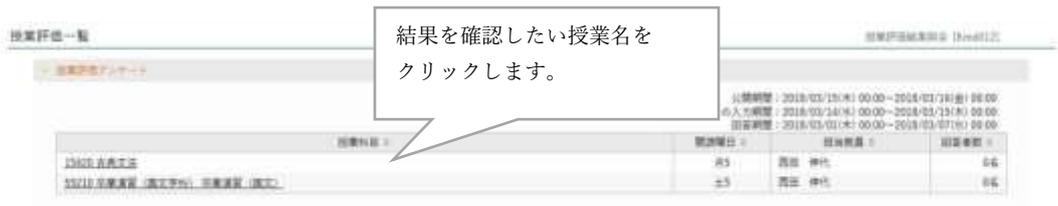
教員向け授業評価アンケート閲覧方法

授業評価アンケート結果を確認する。

- ①メインメニュー → 授業関連 → 授業評価結果照会を開きます。



- ②【授業評価一覧】画面が表示されます。



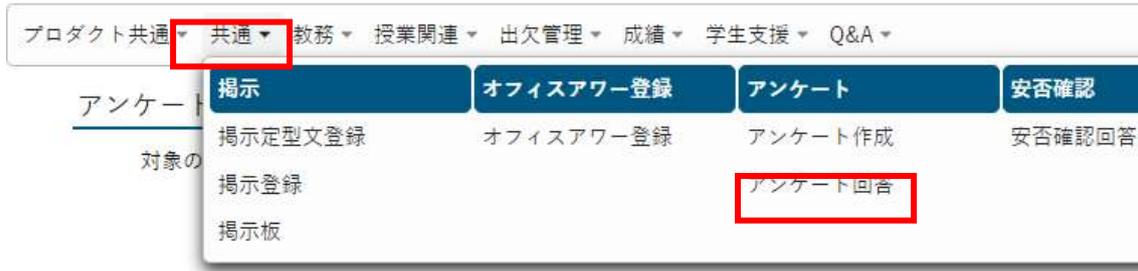
- ③授業ごとの集計結果が表示されます。(以下の結果はサンプルです)



UNIVERSAL PASSPORT

授業評価アンケート報告書 作成方法

①メインメニュー → 共通 → アンケート → アンケート回答を開きます。



②授業評価アンケートを実施された科目についてご入力ください。

アンケート実施科目

1 科目・・・項目1～8まで

2 科目・・・項目1～16まで ご回答ください。 よろしくお願いたします。

アンケートレビュー

回答期限

差出人：FD委員会

【短期大学】授業評価アンケート報告書

授業評価アンケートを実施された科目についてご入力ください。
よろしくお願いたします。

1. 【年度】
2. 【学期】
3. 【授業コード】
4. 【科目名】
5. 【お名前】

以下の質問にお答え下さい。(各300字以内でお願いします。)

6. 1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。

回答後は、下部【回答】ボタンを押して終了してください。



授業評価アンケート（中間アンケート）

このアンケートは、履修生の学修成果を上げるため、授業をより良くする目的で実施するものです。記述内容は成績評価に関係しません。

問1 この授業の良い点を具体的に述べて下さい。

問2 この授業について改善してほしい点を具体的に述べて下さい。

問3 あなたは、授業中の分からないことや不明な点を質問したり調べたりしましたか。（あてはまるもの一つに○をつけて下さい）

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない



令和5年10月吉日

各位

四條畷学園短期大学
教学委員長 工藤真由美

学生による「授業評価アンケート」の実施について

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。
本学では授業改善・教育力向上に向け、授業評価アンケートの実施に取り組んでおり、今年度の実施をお願いする次第です。

授業評価アンケートは、授業到達目標の達成度（学修成果）を基準にして、学生・教員双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にすることを目的としております。また、中間アンケートを実施することで、授業の課題・改善点を浮き彫りにし後半の授業に反映させることで、学生の授業への参加意識を高め、授業到達目標の達成度を高めるねらいがあります。

なお、授業評価アンケート結果に基づく「授業評価アンケート報告書」のご作成と、本学ホームページでの公開も予定しております。あらかじめご了承ください。

何卒趣旨ご理解の上、ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。なお詳細・日程につきましては、別紙『授業評価アンケート実施要領』をご覧ください。

令和5年10月吉日

授業評価アンケート実施要領

教学委員会

ねらい

- 学生の満足度による授業評価ではなく、授業の到達目標の達成度（学修成果）を基準に学生・授業担当者双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にする
- 中間アンケートの導入により、学生の授業への参加意識を高める

授業評価アンケート 実施対象

- 専任教員： 担当授業科目のうち 任意の2科目（又は同一科目2クラスでも可）
 非常勤教員： 担当授業科目のうち 任意の1科目＝1クラス

※注 複数の授業担当者が15回授業の途中で交代するオムニバス授業は、中間アンケートの結果が反映されないので授業評価アンケートの対象から除外

実施スケジュール

9/11(月)～ ライフデザイン総合学科 9/16(土)～ 保育学科	授業 1回目～	授業の到達目標の周知 ・シラバス記載の到達目標（授業終了段階で、学生にできるようになってほしい事柄）を学生に明確に示す
10/30(月) ～11/3(金)	授業 8回目頃	授業評価「中間アンケート」の実施 ★1 1. アンケート用紙を授業担当者が学生に配布（事務室で必要枚数を受け取って下さい） 2. 学生が回答した用紙を授業担当者が回収 *教学委員会に提出は不要です 3. 翌回、学生の意見・要望等をフィードバック、授業改善に活用する
12/11(月)～22(金) ライフデザイン総合学科 12/18(月)～1/13(土) 保育学科	授業 14～15回目	授業評価アンケートの実施 ★2 ・学生がユニパにログイン、回答する ・アンケート集計結果の閲覧期間 <u>1/17水～2/29木</u> *システム上、学生は結果を閲覧できません
2/20(火) 〆切	成績評価後	授業評価アンケート報告書の提出 ★3 ・授業担当者がユニパにログイン、回答する

★1～3 時期が近づきましたら、ユニパ配信でお知らせする予定です

《中間アンケート》

- 問1 この授業の良い点を具体的に述べて下さい。
- 問2 この授業について改善してほしい点を具体的に述べて下さい。
- 問3 あなたは、授業中の分からないことや不明な点を質問したり調べたりしましたか。
1. そう思う
 2. ややそう思う
 3. あまり思わない
 4. そう思わない

《最終アンケート》

- 問1 中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたか。
1. そう思う
 2. ややそう思う
 3. あまり思わない
 4. そう思わない
- 問2 この授業は、積極的な参加を促すための工夫（質疑応答、課題の発表、グループワーク、コメントペーパーなど）がされていましたか。
1. そう思う
 2. ややそう思う
 3. あまり思わない
 4. そう思わない
- 問3 この授業の予習・復習および課題に当てた時間は、1週間でどのくらいですか。
1. 2時間以上
 2. 1～2時間
 3. 30分～1時間
 4. 30分未満
- 問4 この授業のシラバスに示されている到達目標をどの程度達成できたと思いますか。
1. ほとんど達成できた（90～100%）
 2. Bかなり達成できた 80～89%
 3. 少し達成できた（70～79%）
 4. あまり達成できなかった（60～69%）
 5. ほとんど達成できなかった（59%以下）

《授業評価アンケート報告書》

（各欄 300 字以内）

- 問1 この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。
- 問2 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。
- 問3 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい（今後の課題も含む）。



令和5年12月吉日

各位

四條畷学園短期大学
副学長・教学委員長 工藤真由美

授業評価アンケートの実施および報告書ご提出のお願い

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今期授業も終了に近づいて参りました。「中間アンケート」を実施した科目（クラス）につきまして、授業評価アンケートの実施を下記の通りご案内申し上げます。

校務ご多忙の折大変恐縮ではございますが、授業改善・教育力向上に向けご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

記

実施期間 : 授業回数 14 回目もしくは 15 回目（保育学科：12/18～1/13、
ライフデザイン総合学科 12/11～22；補講の場合含む）
※年間行事予定・ユニパの出欠管理で授業回数の確認ができます

実施対象科目：「中間アンケート」を実施した科目（クラス）

実施方法 : p2 マニュアル：学生用【授業評価アンケートの回答方法】参照
※授業評価一覧には、学生の履修授業がすべて表示されます。
教員の指示する授業科目のみに回答させて下さい。

結果の閲覧：p3 マニュアル：教員用【授業評価アンケートの閲覧・授業評価
アンケート報告書の回答方法】参照
※実施科目以外の科目名が表示される場合がありますが、学生が
間違えて回答したものです。学生は結果を閲覧できません。

※授業評価アンケート

結果 閲覧期間： 1/17(水)～2/29(木)

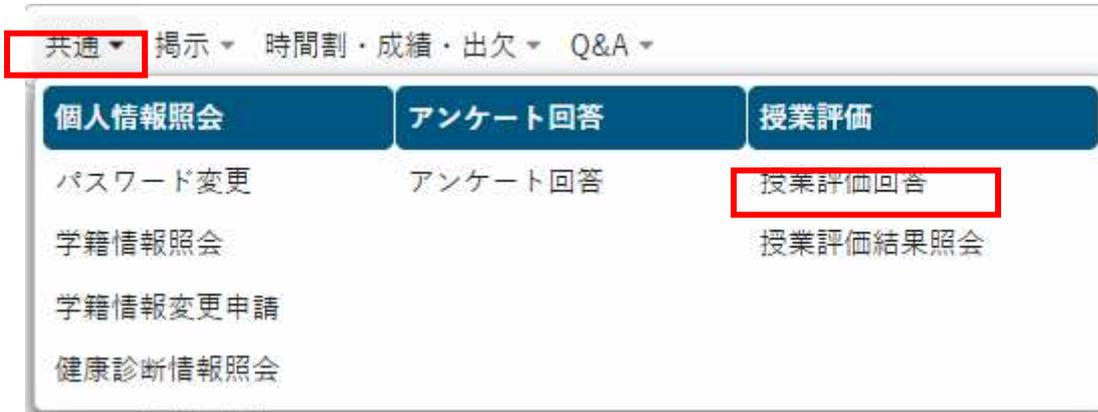
報告書 作成期限： 2/20(火)

※ユニパのアンケートに回答する形での報告書作成となります。授業評価アンケートの結果について、中間アンケート・学生の成績（学修成果の状況）と関連づけ、ご考察下さい。

以上

学生用 【授業評価アンケートの回答方法】

- ①パソコンまたはスマートフォンから UNIPA へログインします。
- ②「メインメニュー」⇒「共通」⇒「授業評価回答」を選択します。



- ③回答する「授業科目名」をクリックします。
- ④アンケート内容が表示されますので、全ての問いに回答してください。
- ⑤すべての回答が終了したら、下部にある「回答」ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows the '授業評価プレビュー' (Course Evaluation Preview) page. At the top right, it says '提出人: FD委員会'. The main heading is '【短期大学】授業評価アンケート'. Below the heading, it says '授業評価アンケートです。回答をお願いいたします。'. There are four questions with radio button options:

- 問1: 中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたか。
 そう思う ややそう思う あまり思わない そう思わない
- 問2: この授業は、積極的な参加を促すための工夫（質疑応答、課題の発表、グループワーク、コメントペーパーなど）がされていましたか。
 そう思う ややそう思う あまり思わない そう思わない
- 問3: この授業の予習・復習および課題に当てた時間は、1週間でのどのくらいですか。
 2時間以上 1~2時間 30分~1時間 30分未満
- 問4: この授業のシラバスに示されている到達目標をどの程度達成できたと思いますか。
 ほとんど達成で
また (90~100%) かなり達成で
また (80~89%) 少し達成でき
た (70~79%) あまり達成でき
なかった (60~69%) ほとんど達成で
まなかった
(59%以下)

At the bottom, it says 'ありがとうございました。' and a '回答' (Answer) button is highlighted with a red box.

UNIVERSAL PASSPORT

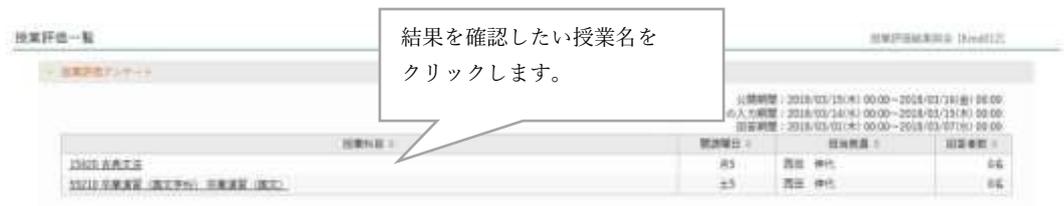
教員向け授業評価アンケート閲覧方法

授業評価アンケート結果を確認する。

①メインメニュー → 授業関連 → 授業評価結果照会を開きます。



②【授業評価一覧】画面が表示されます。



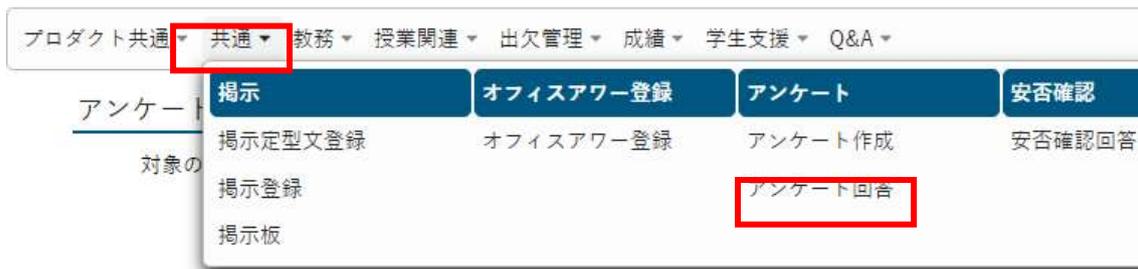
③授業ごとの集計結果が表示されます。(以下の結果はサンプルです)



UNIVERSAL PASSPORT

授業評価アンケート報告書 作成方法

①メインメニュー → 共通 → アンケート → アンケート回答を開きます。



②授業評価アンケートを実施された科目についてご入力ください。

アンケート実施科目

1 科目・・・項目1～8まで

2 科目・・・項目1～16まで ご回答ください。 よろしくお願ひいたします。

アンケートプレビュー

回答期限 差出人：FD委員会

【短期大学】授業評価アンケート報告書

授業評価アンケートを実施された科目についてご入力ください。
よろしくお願ひいたします。

1. 【年度】
2. 【学期】
3. 【授業コード】
4. 【科目名】
5. 【お名前】

以下の質問にお答え下さい。(各300字以内でお願いします。)

6. 1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。

回答後は、下部【回答】ボタンを押して終了してください。

2023年度前期 「授業評価アンケート」 報告書

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
		社会福祉	卒業必修科目でもあり、かつ福祉(保育)の原理科目であるため。加えて対象の受講生が1年生全員となり、授業理解の状況を把握したかったためです。	<p>授業はパワーポイントを活用していたため、中間アンケートの要望として出た内容の改善に努めた。☑</p> <p>改善されたかどうかの結果として、9割以上（92.1%）の学生がそう思うもしくはややそう思うを選択した。☑</p> <p>具体的取り組みとして、パワーポイントで説明・解説した項目で重要度を示すために色分けしていたのが、逆にどの項目が重要なかが判別できなかったとの要望に対しては、色分けをシンプルにし、最も重要な項目のみ色づけして表示するようにした。☑</p> <p>次ページをめくるスピードが少し速いとの要望があり、その対処として、今まで以上にページをめくる際の声かけを意識し、学生のノート筆記に関しては配慮した。☑</p> <p>パワーポイント以外の要望として、関連動画（DVD）を鑑賞してもらう予定が時間不足となり、見てもらえないことがあったことに対して、授業進行を考慮しながら動画鑑賞の時間の確保に努めた。</p>	<p>約8割（76.3%）が到達目標にほとんど達成できたもしくはかなり達成できたと回答していることから、授業で伝えたかった主旨は理解してもらえたと考えている。☑</p> <p>ただし、これに満足するのではなく、今後も授業範囲が広大な「社会福祉」に関して、受講生にわかりやすく、かつ広範囲の授業内容を厚労省の示すシラバス内容に焦点化しながら授業をすすめていきたい。</p>
保	合田 誠	社会福祉	卒業必修科目でもあり、かつ福祉(保育)の原理科目であるため。加えて対象の受講生が1年生全員となり、授業理解の状況を把握したかったためです。	<p>授業はパワーポイントを活用していたため、中間アンケートの要望として出た内容の改善に努めた。☑</p> <p>改善されたかどうかの結果として、9割近く（88.9%）の学生がそう思うもしくはややそう思うを選択した。☑</p> <p>具体的取り組みとして、パワーポイントで説明・解説した項目で重要度を示すために色分けしていたのが、逆にどの項目が重要なかが判別できなかったとの要望に対しては、色分けをシンプルにし、最も重要な項目のみ色づけして表示するようにした。☑</p> <p>次ページをめくるスピードが少し速いとの要望があり、その対処として、今まで以上にページをめくる際の声かけを意識し、学生のノート筆記に関しては配慮した。☑</p> <p>パワーポイント以外の要望として、関連動画（DVD）を鑑賞してもらう予定が時間不足となり、見てもらえないことがあったことに対して、授業進行を考慮しながら動画鑑賞の時間の確保に努めた。</p> <p>また、筆記する量が多いとの要望に対しては、必要最低限度の項目に絞って授業をすすめているので、そこは了解してほしいと説明した。</p>	<p>約4割（44.4%）が到達目標にほとんど達成できたもしくはかなり達成できたと回答となり、授業で伝えたかったことが浸透しきれていない結果を受け止めることができた。しかしながら、少し達成できたを加えれば、9割以上（92.6%）となるため、最低限度の理解は得られたのではないかと考えている。☑</p> <p>今後も授業範囲が広大となる「社会福祉」について、受講生にわかりやすく、かつ広範囲の授業内容を厚労省の示すシラバス内容に焦点化しながら授業をすすめていきたい。</p>

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	鍛治谷 静	発達心理学 (1・2・3組)	クラス間比較をするため。	スライドの進むペースが速い、文字が小さいとの声の一部あったため、学生の様子を見ながら改善に努めた。	おおむね達成できており、学生の自己評価とも大きなギャップはなかった。しかし、授業の後半に扱った学習理論に対する理解度が低かった。理解と定着を図るため、内容によっては授業内での小テストの活用等を検討している。
		発達心理学 (4・5・6組)	クラス間比較をするため。	要望により、授業の中ほどで眠気ざましに座ったままできるストレッチを導入してみたが、授業の展開等の改善も図るべきだったように思う。	おおむね達成できており、学生の自己評価とも大きなギャップはなかった。しかし、授業の後半に扱った学習理論に対する理解度が低かった。理解と定着を図るため、内容によっては授業内での小テストの活用等を検討している。クラス間比較をすると教員の印象の違いが学生の自己評価の差としても表れており、同科目であっても個々の学生の興味関心や学習進度に応じた授業の構成、資料の提示の仕方を工夫する必要性を感じている。
保	香月 欣浩	幼児と図工Ⅰ（4.5.6組）	1年生の授業改善（授業内容・方法）を今年度も継続して行っているため、その効果を知りたかったため。	制作時間、片付け時間、振り返りシートの時間確保についての希望であったので、段取りをさらに考え、改善を行った。	改善に努めたことと、無理な希望については、授業で説明した。そのためか、達成についての回答で多くの学生が満足の回答をしている。☑ 学生も私も楽しく学びながら、力をつけたと感じている。後期はさらに理論と実践を結び付けていく授業実践を課題とする。
		幼児と図工Ⅰ（1.2.3組）	1年生の授業改善（授業内容・方法）を今年度も継続して行っているため、その効果を知りたかったため。☑ またクラス間比較をしたかったため。	制作時間、片付け時間、振り返りシートの時間確保についての希望であったので、段取りをさらに考え、改善を行った。☑ またグルーピングの工夫を行った。	改善に努めたことと、無理な希望については、授業で説明したこともあり、「ほとんど達成できた。かなり達成できた」と答えた学生が80パーセントを超えていた。☑ 学生は授業中、表現しても認めてもらえる安心感の中でストレスなく、楽しく学びながら、力をつけたと感じている。後期はさらに理論と実践を結び付けていく授業実践を課題とする。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	阪野 学	子ども家庭支援論	2クラスの内アンケートの回答者が少なく、より貴重な意見が反映されていると考えたため。	毎回の授業で学外学修時間の確保のためシャトルシートを課している。そのシートに授業に関する要望・質問を学生が書き込めるようにしており、何か要望があれば必ず次の授業の際にリアクションし改善に努めどうしても対応の難しい場合はその理由を説明して理解を求めている。具体的には、授業の進行の速度、パワーポイントの見やすさ、説明の分かりやすさ、授業開始時の要点の説明、授業の最後のまとめ等である。☑ この様に毎回の授業で学生からの要望に耳を傾け授業の改善・工夫を行っているため、中間アンケートと云う事を取り立てた要望は無く平素の授業で受け付けている要望で対応できていると史料している。	本クラスの評価の平均は100点満点で73点であった。アンケート結果からも「ほとんど・かなり達成できた」37%、「少し達成できた」58%、「あまり達成できなかった」5%、「ほとんど達成できなかった」0%と評価に則った内容であった云うことができる。☑ 次年度に向けての課題としては、学外学修時間の確保のためのシャトルシートの充実、特に考察文の添削指導やレポートの作成指導による学生全体の課題である文章力の向上に繋がるように努めたい。
		社会的養護Ⅱ	3クラスの内アンケートの回答者が少なく、より貴重な意見が反映されていると考えたため。	毎回の授業で学外学修時間の確保のためシャトルシートを課している。そのシートに授業に関する要望・質問を学生が書き込めるようにしており、何か要望があれば必ず次の授業の際にリアクションし改善に努めどうしても対応の難しい場合はその理由を説明して理解を求めている。具体的には、シャトルシートの授業前の配布、授業の進行の速度、パワーポイントの見やすさ、説明の分かりやすさ、授業開始時の要点の説明、授業の最後のまとめ等である。☑ この様に毎回の授業で学生からの要望に耳を傾け授業の改善・工夫を行っているため、中間アンケートと云う事を取り立てた要望は無く平素の授業で受け付けている要望で対応できていると史料している。	本クラスの成績は、100点満点平均70点であった。アンケート結果からも「ほとんど・かなり達成できた」39%、「少し達成できた」54%、「あまり達成できなかった」0%、「ほとんど達成できなかった」8%と評価に則った内容であった云うことができる。☑ 次年度に向けての課題としては、学外学修時間の確保のためのシャトルシートの充実、特に考察文の添削指導やレポートの作成指導による学生全体の課題である文章力の向上に繋がるように努めたい。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	金川 朋子	スポーツⅠ	2コマ担当する1コマ目の授業を選んだ	<p>講義形式の授業では、ノートのとりにやすいように、提示資料、配付資料を記入しやすいように工夫した。☑</p> <p>アンケートの結果においても、否定的な意見はなく、工夫していることが有効だったと考える。☑</p> <p>実技内容では、学生がより楽しんで運動に取り組めること、実践的であること、体操については、2～3回の繰り返し、☑</p> <p>お手玉の練習は、10分程度継続しながら取り組んだ。結果、多くの学生がソムリエ（お手玉）初級を合格できている。☑</p> <p>☑</p>	<p>シラバスの到達目標に対しては、2名を除き、達成感をもって授業に取り組んでいるとらえている。☑</p> <p>お手玉の課題についても、練習時間を継続的に確保すること、個人個人にアドバイス、学生同士の学びあい教えあいができるようにしたことで、昨年度以上に技術習得ができた学生が多くなった。☑</p> <p>後期においても、技術習得で得る達成感を感じる授業に取り組みたい。また、運動することを通して、保育者としての実践力の工場と同時に、学生通しのコミュニケーションを促進できるように、心身リフレッシュの機会としても機能できるような授業にしたいと考える。</p>
		特別支援教育総論1	2コマ担当する1コマ目の授業を選んだ	<p>グループワークを嫌う学生もいるが、グループワークで得られる学びの大切さを再度説明をした。☑</p> <p>グループワークでは、話し合いだけでなく、調べ学習を取り入れ、共同作業、共同発表に取り組んだ。☑</p> <p>講義の授業では、ノートのとりにやすいように、提示資料、配付資料を記入しやすいように工夫した。</p>	<p>シラバスの到達目標達成状況については、2名を除き、達成感をもって授業に取り組んでいる。☑</p> <p>各授業の振り返り小テスト、定期的な小テストを実施することで、定期テストの回答率も、昨年度よりも向上している。☑</p> <p>学びの達成感を持たせることで、主体的な学習の姿勢の育成につながることを期待したい。☑</p> <p>さらに、グループワークを苦手な学生もいるが、積極的に学習に取り組める学生も多く、学生同士の学びあいが生まれるように、☑</p> <p>さらに、理論の理解を深化させるように授業を展開していきたいと考える。</p>

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	木村 美佳	子どもの健康と安全 1. 2組	このクラスは、私語が多く、授業の進みも遅く、進行させるのがとても難しかったため選択しました。☑	2年生の授業が3クラス続く最後の授業でもあり、5限という集中するのが難しい時間的要因の可能性もあるなか、☑材や授業スライドの質を、ほかのクラスと同じにしています。☑ 中間アンケートでは、演習の質などに対するマイナスの意見はありませんでした。☑ 学生の集中の度合いや時間的な要因を考えると、スライドの見やすさや質問の難易度を考えて、☑生がより考えやすいようにしていく工夫が必要だと感じました。学生の意見や態度によって、展開する時間や授業の方法をより簡潔にして、☑体的な改善策を導入しました。☑ リフレクションの記入や学生同士の話し合いなどを多くした結果、理解度は増していった可能性もあります。☑	あまり理解が進まなかったという回答もありました。☑ 演習の授業にもかかわらず、理解することが困難であるとう回答だったため、授業の導入部分をさらに明確にし、☑習時間をよりとれるようにし、本人が主体的に取り組めるようにしたと思います。☑ シラバスの到達目標は達成できたかと思います。☑ またクラス全員に記入してもらうようにしたにもかかわらず、回答数が少なかったことも、次回のアンケート調査には全員が参加してもらえるように☑とりずつが回答できたかどうかの確認をする作業を加えたいと思います。
保	千田 耕太郎	幼児と音楽Ⅰ	1年生の音楽系の授業の中で唯一、全員必修の授業であるため。	ピアノ個別指導や集団指導など、複数教員で当たっているため、授業前の打合せ時に、中間アンケートの結果を共有し、改善の必要がある点については議題にあげ話をした。☑ ピアノ曲、弾き歌い曲の合格基準について、不満を持っている学生がいるようなので、出来るだけ統一できるような教員間で話し合いをした。	学生の成績の指針として、ピアノ前期必修課題の到達度に着目すると、必修課題を全て終えている学生は9割を超えている。ただ、問4の結果を見ると「ほとんど達成できた」「かなり達成できた」の合計は58%であり、シラバスに示されている音楽の力、音楽を指導するための力が充分身につけていると感じていない学生も少なからずいる。総合的な音楽の力、音楽を指導するための力をつける取り組みについて考えていく必要を感じている。
		幼児と音楽Ⅰ	1年生の音楽系の授業の中で唯一、全員必修の授業であるため。	ピアノ個別指導や集団指導など、複数教員で当たっているため、授業前の打合せ時に、中間アンケートの結果を共有し、改善の必要がある点については議題にあげ話をした。☑ ピアノ曲、弾き歌い曲の合格基準について、不満を持っている学生がいるようなので、出来るだけ統一できるような教員間で話し合いをした。	学生の成績の指針として、ピアノ前期必修課題の到達度に着目すると、必修課題を全て終えている学生は9割を超えている。ただ、問4の結果を見ると「ほとんど達成できた」「かなり達成できた」の合計は58%であり、シラバスに示されている音楽の力、音楽を指導するための力が充分身につけていると感じていない学生も少なからずいる。総合的な音楽の力、音楽を指導するための力をつける取り組みについて考えていく必要を感じている。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	森 麻希子	幼児と音楽Ⅲ (1・2・3組)	授業科目の特性上、個人レッスンや集団授業など内容が多岐に渡り、多くの教員が関わるため	アンケート結果を担当教員全員と共有し、改善点については共通の意識が持てるように申し合わせを行った。☑ 良い点として、マンツーマンのピアノレッスンが最も多く、他にも、歌、リズム奏、合奏など音楽表現について幅広く学べるという点があがった。☑ 学生の豊かな感性を尊重しつつ、技術の向上が見込めるように丁寧な関わりを継続した。☑ 改善点については、特になしが最も多かった。しかし、毎回個人レッスンの順番をローテーションしているのがややこしい等、学生からの意見もあったため、時間の公平性を保つために行っていることなど、学生に対して改めて説明し理解を求めた。☑	アンケート結果による学生の自己評価と、成績は概ね一致した結果となった。予習・復習も多くの学生がある程度行っており成果に結びついたように思う。☑ 授業の中で、実習・就職（試験対策含む）に結びつくように丁寧に指導するように心がけたが、今後も学生のモチベーションアップに繋がるように、内容を適宜見直しつつ適切な指導を行っていきたい。
		幼児と音楽Ⅲ (4・5・6組)	授業科目の特性上、個人レッスンや集団授業など内容が多岐に渡り、多くの教員が関わるため	アンケート結果を担当教員全員と共有し、改善点については共通の意識が持てるように申し合わせを行った。☑ 良い点として、マンツーマンのピアノレッスンが最も多く、少人数で受けられること、質問しやすい雰囲気があるという点があがった。☑ 個人レッスンの時間を大事に思っている学生が多いため丁寧な関わりを継続した。☑ 改善点については、特になしが最も多かったが、童謡のレパートリーを増やしたいという声も多くあがり、改めて内容の見直しを行った。☑	アンケート結果による学生の自己評価と、成績は概ね一致した結果となった。予習・復習については個人差が大きく成績にも反映されているように見受けられた。実技科目の特性上、取り組んだ時間が成績に直に反映する傾向にあるため、どのようにしたら学生がモチベーションを継続できるのか改めて検討する必要性を感じた。授業の取組みの一つとして実習・就職（試験対策含む）に結びつくように丁寧に指導するように心がけたが、今後も内容を適宜見直しつつ適切な指導を行っていきたい。
保	阪江 豪	幼児と人間関係	入学して初年の授業であるため、学生の授業への適応や理解度を図り、全体や個人への今後の授業への様々な対応ができるようにするため。	授業資料や内容の組み立て	学生の理解度は概ね良好であったと感じる。今後の課題としては、クラスや個人によってグループディスカッションに対する参加態度などが異なり、それが学習や理解度等の差につながる恐れもあるため、それぞれに応じて教員がフォローをする必要があると感じた。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	松下 明日香	幼児と健康	「幼児と健康」は5領域のうちの1つであり、保育者としての力量を高めるにあたり重要な授業だと考えるため。	課題が多いという意見に対し、他の講義課題とのバランスや学生の負担感、モチベーションの維持等を考慮して、課題の量を調整するとともに、できるだけまず講義内で課題に取り組む時間を設け、質問等を受けた後、残った分を宿題にする等の配慮を試みた。来年度は負担の大きい課題は取り組み期間を延ばすようにしたい。	半数以上の学生が到達目標を「かなり達成できた」「ほとんど達成できた」と回答していた。☑ 保育を初めて学ぶ1年生ということもあり、講義の前半に繰り返し、保育とは何をするのか、そのためにこの講義ではどの部分を学習するのかを示してきたことで、到達目標のイメージと保育に必要なことを学んだという実感が得られたのではないかと考える。☑ 成績からは、実際の保育に活用できるところまで知識が定着していない学生も一定数見受けられる。☑ 今後は学生の負担感が少ない形で、講義の振り返り、まとめ課題等の取り組み方法を工夫したい。
保	長谷 秀揮	保育内容演習 (言葉・人間関係)	中間及び最終授業アンケートによって、担当の授業科目について受講学生からの評価や意見をできるだけ多くもらう機会として、また多様な評価や意見を学生の側から示してもらって参考として、活用することによりこの授業科目のさらなる改善や工夫を図り、いっそう学生の側に立った授業にして、受講満足度の向上をすすめたいと考えました。	学生からの意見として、具体的で分かり易く、特にレジュメ及びパワーポイントを活用した毎回の授業形式と、写真や録画またDVDなどの視聴覚教材を積極的に利用した授業スタイルが、その分かり易さにつながっている、といった意見が多数あり、意を強くしました。学生からの意見等を、日常のかつ継続的に参考にしながら、毎回のレジュメやパワーポイント及び視聴覚教材のさらなる充実に取り組み、授業の改善、工夫を図るようにしました。	アンケート結果及び学生の成績から見て、シラバスの到達目標の達成状況については、少数の学生を除き、おおそ達成できていると考えられます。 しかし十分に達成できていないと考えられる学生がいることも、少数とはいえ明らかなので、より多くの学生が、シラバスの到達目標を十分に達成できるように、さらなる配慮と工夫が必要であるといえます。 学生の理解と習熟をより促すことが出来るように、授業の工夫、改善をいっそう図っていくようにしたいと思えます。

		科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	多田 知正	子ども文化Ⅲ (WEBデザイン)	唯一の担当科目だったため。	Web以外の内容についても取り上げて欲しいという要望があったため、追加でそのような内容を含めた。	Webサイトの作成の基本的な方法は身についたと言えるが、ツールの使いこなしについては個人差が大きい。特にコンピュータに苦手意識のある学生に対しての動機づけが今後の課題であると考えている。☒
保	竹歳 賢一	情報基礎	担当2クラスのうち、アンケートへの真摯な回答が期待できるからです。	説明が早いなど授業進度に関する課題があったので、できるだけ説明やポイントを掲示して見やすいように工夫した。	シラバス到達目標は概ね達成できた。☒ 学生の反応を見ながら全員が授業内容が理解できるよう工夫をしたい。
保	岡山 貴範	保育内容演習 環境健康	大きな理由はありませんが、他のクラスに比べてアンケートに対して誠実に回答してもらえるとおもったからです。	中間アンケートでは、パワーポイントの進み方が少し早く、書きにくいという意見があったので、スライドを進める時に全員が書いたかを確認してから次に進むように行った。	アンケートの結果と成績の結果から、シラバスの到達目標には概ね達したと思いますが、成績のパラツキがあるところもあったので、課題としては全ての学生にこちらが望む到達目標に近づけるように講義や課題の工夫が必要だと思いました。
保	川松 智子	子ども文化Ⅱ（腹話術）	このクラスのみ担当	おおむね 今の授業の進め方で良いと判断しました。☒ 人形制作中に孤独感があった生徒さんが居られたので☒ その後 声掛けを気を付けるようにしました。	ほぼ達成できたと思います。☒ 裁縫経験のない生徒さんがほとんどでしたが☒ オリジナルデザインを考えて☒ 自分で台本を書いて☒ 最終的には保育園での実演を叶えました。☒ きっと大きな自信につながったと思います。☒

		科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	多田 知正	子ども文化Ⅲ (WEBデザイン)	唯一の担当科目だったため。	Web以外の内容についても取り上げて欲しいという要望があったため、追加でそのような内容を含めた。	Webサイトの作成の基本的な方法は身についたと言えるが、ツールの使いこなしについては個人差が大きい。特にコンピュータに苦手意識のある学生に対しての動機づけが今後の課題であると考えている。☒
保	竹歳 賢一	情報基礎	担当2クラスのうち、アンケートへの真摯な回答が期待できるからです。	説明が早いなど授業進度に関する課題があったので、できるだけ説明やポイントを掲示して見やすいように工夫した。	シラバス到達目標は概ね達成できた。☒ 学生の反応を見ながら全員が授業内容が理解できるよう工夫をしたい。
保	竹永 知弘	日本語表現 (スタディスキル含む)	回答率が高かったため。	学生にいっそう積極的に授業に参加してもらえよう、授業を改善・工夫した。	おおむね達成できた。今後は、より学生の予習・復習をうながすよう工夫したい。
保	岡山 貴範	保育内容演習 環境健康	大きな理由はありませんが、他のクラスに比べてアンケートに対して誠実に回答してもらえるとおもったからです。	中間アンケートでは、パワーポイントの進み方が少し早く、書きにくいという意見があったので、スライドを進める時に全員が書いたかを確認してから次に進むように行った。	アンケートの結果と成績の結果から、シラバスの到達目標には概ね達したと思いますが、成績のバラツキがあるところもあったので、課題としては全ての学生にこちらが望む到達目標に近づけるように講義や課題の工夫が必要だと思いました。
保	堀口 節子	カウンセリング概論	アンケートの回答率が7割近くあり、授業評価が適切であると思ったから。	パワーポイントの文字を大きくして見やすくした。文字だけでなく図や表を多く取り入れ、分かりやすい授業を心がけた。また、自分を表現できる課題を毎回出して、自分の事を考える時間を作った。授業評価アンケートの「中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組み」の結果は8割の学生が、そう思う・ややそう思う、と回答しており、改善や工夫が評価されたと考えている。☒	授業評価アンケートの「シラバスの達成目標」の結果は、ほとんど達成できた・かなり達成できたと9割の学生が回答しており、全体的に高い評価をされたと考える。しかし、☒ 学生の成績には高低のバラツキがあり、今後は基礎的な内容に加え応用問題にも対応できるような授業を工夫していきたいと考える。
保	川松 智子	子ども文化Ⅱ（腹話術）	このクラスのみ担当	おおむね 今の授業の進め方で良いと判断しました。☒ 人形制作中に孤独感があった生徒さんが居られたので☒その後 声掛けを気を付けるようにしました。	ほぼ達成できたと思います。☒ 裁縫経験のない生徒さんがほとんどでしたが☒オリジナルデザインを考えて☒自分で台本を書いて☒ 最終的には保育園での実演を叶えました。☒ きっと大きな自信につながったと思います。☒

		科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	谷 玲子	保育内容演習（総合表現）	一番やる気の無いクラスだったから	総合表現を受講する意味、必修科目である事は重々わかっているかと思いますが、学生から「みんなやる気が無い」と聞いていましたので、この授業の意義については、しっかり説明させていただいたつもりです。☑ 保育の道へ進む学生さんには、就職圏を決めるとき総合表現をしてこられた大学の学生さんである事は大きな武器になる事、四條畷学園という名前は保育界では注目されている事、実際に子ども達に指導する機会がある事、ミュージカルだけで無く日常保育にも役立っていく事など説明しています。	「みんなやる気が無い」学生さん方でしたが、保育祭に向けて練習し、発表することで、かなり気持ちも変わってきたのでは無いかと思います。早い時期から、それがわかって頑張ろうとしている学生も居られますので、その学生さん方を引き上げるような指導を心がけました。保育祭を終え、貴重な体験をされたことと思いますので、達成感は十分に感じられているかと思います。
保	渡邊 みのぶ	日本国憲法と人権（木曜3限）	本年が、担当開始初年度であったため。	中間アンケートのほかに、毎回、自由提出で、「今日の授業で、もっと聞きたいと思った画像番号。今日の授業で全然分からないと思った画像番号。その他、伝えたいと思うこと。」という項目の「アンケート」を「記名式」で集計しました。したがって、第2回めから、講義開始後15分程度で丁寧な「前回講義の 補充」を行い、フィードバックに努めた。「中間アンケート」確認後は、特に授業の内容を減らし、授業スピードを落とし、「分からない」と申し出る受講生を減らすように心がけた。結果として、第8回目以降から「授業が分かるようになって、楽しくなってきた。」という感想が出始め、2回ほど「小レポート」を課したが、記入率も非常に良かった。	授業アンケートでは、少数の「低評価」の学生が見受けられるが、今回の「語群選択式」テストも、全問不正解のような学生はおらず、ひとまずの「理解定着」は、はかられたのではないかと推測している。今年を受講生は「職業意識」が強かったが、なにせ「テキスト」のような「基礎知識」については、即「保育場面」でなぜ必要になるかと「直結」させるには難しく、今後の「課題」と思われる。
保	馬場 住子	保育・教育課程論	授業への参加(出席など)率が高く、授業評価アンケートへの協力(回答率)がよりよく得られると思ったから。	授業のパワーポイントを印刷したものを配ってほしい、パワーポイントにページ数を入れてほしいという要望に応えた。☑ 休憩時間は取らないでよい、途中の手遊び(保育実践に使える遊びの紹介)などの演習はいらぬ、電気を落としてほしいなどといった意見(自由記述)があったため、意見に従った。	本来は予習復習の時間を増やしてほしいと思うが、他の授業や色々忙しいとの声が聞かれたこともあり、学生の負担になるような課題はできるだけ出さないように心掛けた。そのため、学習時間は少ない結果が見られたことは課題として受け止めている。また、目標達成の意識についてはどのくらいを目指すか。その難易度は難しいと感じている。今後検討していきたいと考える。

		科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	大庭 夕穂	英語（英会話A）	出席率が安定して高いため。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業スピードについて、大多数が「丁度良い」と考えた一方、「早すぎる」あるいは「遅すぎる」と感じる学生も数名ずつ見られた。そこで授業が単調にならないよう、特に大事なポイントは重点的にゆっくり解説し、それ以外の箇所についてはテンポよく進めることで、授業にメリハリが出るように工夫した。☑ ・前半の授業で好評だった視聴覚資料は、後半の授業でも積極的に活用した。学生が重要箇所を見落とさないよう、かつ集中力を維持できるよう工夫した。 ・「質問しにくい雰囲気」という指摘があり、授業の途中で分からない箇所はないかこまめに確認を取るようにした。手を挙げて質問しづらい学生に対しては、教員が教室を回る機会を設けて、直接話しかけやすい空間づくりをした。 ・「授業中に当てないでほしい」という意見に関しては、学生の理解度や学習ペースを確認するための大事な方法だということを説明し、納得してもらった上で継続した。 ・「期末テスト前に全体の復習をしてほしい」という要望があり、直前の試験対策を通してポイントや復習方法を分かりやすく提示した。 	<p>シラバスの到達目標の一つは、日本語以外の言語や文化を背景に持つ子どもたちとコミュニケーションが取れるよう、英語の基礎を習得することであった。</p> <p>アンケートの結果および学生の成績から見て、この点は概ね達成できたと考える。</p> <p>また、他国の文化を理解し柔軟に受け入れようとする姿勢についても、ほとんど全ての学生が積極的に身に付けようとしていたことがうかがえる。</p> <p>一方、実践的な言語運用能力に関しては、まだ不十分であると言える。学生が主体となって英語で発信する力を養うことが今後の課題である。そのために、後期は授業中に英語表現をアウトプットする機会を設け、学習内容と使う場面とが連動するような授業を展開していく。</p>
保	安藤 準佑	保育原理	担当2クラスのうち、全体の出席率が高い方を選んだ。	<ul style="list-style-type: none"> ☑講義を聞いているだけでは眠たくなるという意見や、穴埋め式の資料にしてほしいという意見を踏まえて、配布資料に記入枠を設け、また学生自身の考えや気づきをメモできるように資料作りを工夫した。☑ また、資料の字が小さいという意見を踏まえて、全体的に文字を大きく変更した。 	<p>保育制度や保育の歴史、現在の社会課題を学ぶ科目であるため、内容も難しく、且つ現在の社会問題について考える機会も多い内容だった。☑</p> <p>その中で、さまざまな社会課題に対して自分なりの考えを持つ大切さと、責任感と共にやりがいのある楽しい職業であることは伝わったのではないかと。☑</p> <p>一方で、グループワークやディスカッションなど、双方向の講義を取り入れるとより学生たちの学びに繋がったのではないかと。☑</p>

		(入力欄)	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	工藤 真由美	日本語表現法A	1年生卒業必修科目で2クラス開講のため、クラス間比較ができること。例年対象クラスに選定しており、経年比較ができること。	中間アンケートの要望として、空調の効きが弱い、強い要望が多く、6件。グループワークをやめてほしい1件。(グループワークが楽しいという意見が8件)漢字テストがないほうが良い1件。(漢字の実力がつくのが良いという意見10件)それぞれに対して、空調は北条事務室一括管理のため、まめに授業中に温度変更の依頼に行かねばならず、窓を開け閉めする対応を行った。グループワークや漢字テストはシラバスに記載通り行った。グループワークをする意味は学習内容の定着を図る目的であることを繰り返し説明した。	予習復習時間は、シラバスに30分から45分と示している。アンケート結果も、30分未満、30分から1時間未満が、86%であり、概ねシラバス通りの達成が見て取れる。到達目標は32%の学生がほとんど達成、かなり達成と回答している。学生のほうがやや厳しめの評価を下しているものの、概ね成績評価と一致している。今後はグループワークを増やしたいと思うので、グループワークの意義を理解するように説明やワークの進め方を一層工夫していきたい。
		日本語表現法B	1年生卒業必修科目で2クラス開講のため、クラス間比較ができること。例年対象クラスに選定しており、経年比較ができること。	中間アンケートの要望として、空調の効きが弱い、強い要望が多く、6件。グループワークをやめてほしい2件。(グループワークが楽しいという意見が7件)漢字テストがないほうが良い2件。(漢字の実力がつくのが良いという意見6件)それぞれに対して、空調は北条事務室一括管理のため、まめに授業中に温度変更の依頼に行かねばならず、窓を開け閉めする対応を行った。グループワークや漢字テストはシラバスに記載通り行った。グループワークをする意味は学習内容の定着を図る目的であることを繰り返し説明した。	予習復習時間は、シラバスに30分から45分と示している。アンケート結果も、30分未満、30分から1時間未満が、91%であり、概ねシラバス通りの達成が見て取れる。しかし、30分未満の学生が68%おり、まったく予習復習をしていない可能性は否定できない。毎回課している漢字テストの成績が振るわない学生が複数いることから予習復習については、チェック方法を検討する必要がある。学習の到達目標は41%の学生がほとんど達成、かなり達成と回答している一方で、あまり達成できなかった、ほとんど達成できなかったと回答した学生が59%おり、実際の成績評価と比べてやや厳しめの評価を下している。今後はグループワークを増やしたいと思うので、グループワークの意義を理解するように説明やワークの進め方を一層工夫していきたい。

		(入力欄)	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	中川 玲子	食生活アドバイザー	この授業は「食生活アドバイザー検定試験3級」の支援講座であるので、検定合格率を上げることが最終目的である。途中で学生の要望を取り入れることで検定試験に臨むモチベーションを上げるとともに、食生活全般への興味を高め、授業への満足度を上げたいと思い、授業評価アンケート対象に選んだ。☑	中間アンケートの改善要望については、全員が「なし」「特にありません」または記入がなかったので、アンケート実施までに行っていた「食生活アドバイザー検定試験3級 過去問題集 2023年度版」とテキストの解答・解説、および各章最後の小テストを継続して行った。さらにその流れで検定試験直前の「第49回 食生活アドバイザー検定試験3級 模擬問題」の解答・解説にもできる限り注力した。☑ ☑	中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組み、及び積極的な参加を促すための工夫は「やや」を含め全員が「見られた」「されていた」と答えた。予習、復習に当てた時間は、ほぼ半数の学生がシラバスの設定より長かった。この授業の到達目標に全員が「80%以上達成できた」と答えた。☑ 今回の検定試験の合格者数は4名で、昨年度より1名増えた。合格者の半数の2名が90点、80点と高得点だった。しかし合格率は昨年度75.0%から今年度66.6%と低下し、この点が今後の課題である。次年度は学生が自ら予習を積極的に行なえるよう工夫し、授業内では質疑応答やグループワークの機会を設け、遅れがちな学生のフォローにも注力していきたい。☑ ☑
		食の科学A	この授業は昨年度より、シラバスの授業計画において栄養素に関する部分を大きく変更した。これまでは5つの栄養素の基礎的な学びを5回連続して行い、次に生活習慣病との関連において応用へと展開したが、今は、1つの栄養素につき2回授業を行ない、基礎的な学びから応用へ、生活習慣病との関連についても解説し、実際の食生活における摂取上のポイントと注意すべきことへと連続して理解を促している。さらに関連する視聴覚教材を取り入れて、実際の食生活に身近なものとして学べるよう工夫した。2年目に当たる今年度前期の学生の評価を、今年度後期、さらに次年度に活かしたいと考え、授業評価アンケート対象に選んだ。☑	学生からの回答は、14名中2名のみであった。1名から「あるとしたら少し授業スピードを落として欲しい」とあったため、授業の進行途中に、遅れずノートがとれているか、解説内容が理解できたかなどを確認しながら進めるよう心がけた。(この学生の成績は100点満点となったので授業改善の取組みが学生の要望に応えられたと言える)また、もう1名からは「スライドの1部が画面から切れること」とあり対応したが、これにより画面全体が少し小さくなり、見づらくなったのではないかと気になった。教室のプロジェクターが暗い点も気になったが、前期途中での教室変更はできなかった。(後期は清風学舎の教室であるのでこの点は改善できる)	中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みについては「やや」を含め93%の学生が「見られた」と答え、積極的な参加を促すための工夫については「やや」を含め全員が「されていた」と答えた。この授業の到達目標に、全員が「70%以上達成できた」、46%の学生が「80%以上到達できた」と答えた。☑ 成績から見ると、評定の「秀」と「優」(80点以上)の学生が合計9名(65%)であり、特に3名が100点満点、1名が92点と非常に高成績であった。しかし、1週間で1時間以上予習・復習および課題に当てた学生は16%に過ぎず、54%の学生が30分未満と答えた。今後はこの点を課題として取り組む。☑

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	伊東 めぐみ	医療事務1	<p>医療事務エリアで学ぶ全員の学生が履修する科目であり、医療事務の重要な知識・スキルである診療報酬の点数算定を学ぶ科目なので、学生のフィードバックを参照して、今後の授業に活かしていきたいと考えました。また、この科目は1クラスを2つのクラスに分けて行っていますが、履修者全体のフィードバックが受けられるように、両クラスともアンケート対象科目としました。</p>	<p>中間アンケートで、特に改善してほしいことは記載されていなかったのですが、授業のよい点を述べる箇所に、授業のスピードがちょうどよく分かりやすいという意見があり、授業の内容として理論の理解度が求められる内容のため、十分理解し習熟度を上げられるように、授業の進行を急ぎ過ぎず、現在のペースで行うように心掛けました。</p>	<p>3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）</p> <p>学生の評価として、秀・優が約40%、良が約20%で、履修生の約60%が中～上の到達度という結果でした。しかし、学生自身の自己評価としての到達度は、かなり達成できた(80%～89%)以上を選んでいる学生は2割程度に留まっているので、学生自身は理解が十分でないと感じているようです。この科目を履修した学生は、後期の医療事務IIへと進むことで、点数算定の基礎を一通り学べるようになっていきます。医療事務職として必要な知識である点数算定を学ぶ科目であるため、授業の進行スピードや使用するスライドのわかりやすさなど、更に到達度を上げられるよう工夫していきたいと思います。</p>
		医療事務1	<p>医療事務エリアで学ぶ全員の学生が履修する科目であり、医療事務の重要な知識・スキルである診療報酬の点数算定を学ぶ科目なので、学生のフィードバックを参照して、今後の授業に活かしていきたいと考えました。また、この科目は1クラスを2つのクラスに分けて行っていますが、履修者全体のフィードバックが受けられるように、両クラスともアンケート対象科目としました。</p>	<p>中間アンケートで、特に改善してほしいこととして、授業の進行スピード早いという意見が、複数の学生からありました。もう一つのクラスでは授業のスピードはちょうどよいという意見でしたが、受ける学生によって感じ方に差があるということがわかりました。授業の内容として理論の理解度が求められる内容のため、授業の進行を急ぎ過ぎないように心掛けました。ただ、授業ごとに進む範囲が決まっているので、大幅に遅らせることはできないため、ポイントを押さえた講義になるようにして、授業の進捗とスピードのバランスを取るよう考えました。</p>	<p>学生の評価として、秀・優が約50%、良が約40%で、履修生の約90%が中～上の到達度という結果でした。到達度の目標としてはほぼ達成している結果でした。ただ、学生自身の自己評価としての到達度は、もう少し低い結果が出ていましたので、学生自身はまだ理解できていない部分があると考えているようです。授業の進行スピードに留意するなど、更に到達度を上げられるよう工夫していきたいと思います。</p>

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	安谷 元伸	卒業ゼミ（発展） （安谷ゼミ）☒	今年度より、ソーシャルネットワークサービス等を利用した新たな活動内容に取り組んでいるため。	昼間アンケートで「課題提出等の時間が少なく感じます」との要望が寄せられたことから、授業時間内において作業時間の確保に努めた。	問1「中間アンケート～取り組みは見られましたか」では82%（9名）がそう思う、18%（2名）がややそう思うと回答しており、中間アンケート以降に取り組んだ作業時間の確保等の授業改善は概ね学生に評価されたものと考えられる。一方、ゼミレポートの作成とゼミ制作の両方を行う後半の内容に対しては作業時間がタイトとなってしまったためか、問4「この授業のシラバス～できたと思いますか」には、27%（3名）が少し達成できた、9%（1名）があまり達成できなかったとの回答も見られており、作業時間の十分な確保が次年度以降も課題として明確化した。この点の改善にさらに取り組んでいきたい。
		ウェブデザインII	現在受け持っているウェブデザインIの発展的内容の授業として、今年度より新たに受け持つことになったため。	中間アンケートには要望の記載はなかったものの、授業中に提示する資料が少し見辛いとの声があったことから、提示資料の視認性向上に努めた。	問1「中間アンケート～取り組みは見られましたか」では83%（5名）がそう思う、17%（1名）がややそう思うと回答しており、また、問2「この授業は積極的な参加を促すための工夫～」でも同様の回答率が確認された。そのため、中間アンケート以降に進めたパワーポイント資料の視認性を上げる等の取り組みが一定の成果を得たものとする。しかし、HTML、CSS、JavaScriptと3つの記述が必要となる内容からか、問4「この授業のシラバス～できたと思いますか」では、かなり達成できた67%（4名）、少し達成できた33%（2名）で「ほとんど達成できた」と回答した学生がいなかった。このような結果から、今後は授業内容の難解性を解消する取り組みを進めていきたい。☒

		(入力欄)	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	河合 真知	キャリアデザイン い	<p>本科目をアンケート対象科目に選んだ理由は、ライフデザイン総合学科のベーシックフィールド・キャリアエリアの必修科目であり、1年生全員が前期に履修するからである。1年生の必修科目であれば、本学において入学間もない学生の意見をいち早く収集することができる。本科目への活用に留まらず、他の科目及び後期や2年次にも、より良い授業設計に活かせるからである。☑</p> <p>また、キャリアデザインは、同日の1限目と2限目の2クラスで実施しているが、アンケートは2限目クラスで実施した。理由は、1限目は、朝の電車の遅延等で遅れて入ってくる学生も多くいるため、出席状況が安定している2限目の授業を選んだ。☑</p>	<p>中間アンケートで、DVDやマイクの音声について、改善希望の声があった。施設担当の方にも確認をお願いし、DVD音声により鮮明に聞こえるパソコン設定で、DVDを視聴するように変更した。また、マイクの使用に関しては、アンケート後、学生とも相談し、マイクなしでも聞こえるとの意見であったため、教員の講義に関しては使用せず、学生が順に発表するときのみ使用するようにした。</p>	<p>アンケートによる学生の認識は、「達成できた」の合計が55%であった。一方、成績はS・Aあわせて70%を上回った。学生認識の結果は、シラバスの目標である自らのキャリアや進路の方向性がまだまだ決定できないでいることが伺える。しかし、自分のキャリアに対し、主体的に真摯に向き合い、問題意識を持ち、深く考えることはできたと判断される学生が多いため、評価は高い結果となった。☑</p> <p>今期は、自己理解を促すワークやアセスメントシートを新たに導入し、授業進行を大きく変更した。その結果、「積極的な参加を促すための工夫がされていたか」について、「そう思う」の合計が100%となったことは、授業進行改善が有効であったと考える。☑</p>
		ビジネス実務演習	<p>本科目を授業評価アンケートの対象科目とした理由は、ライフデザイン総合学科のアドバンスフィールド・ビジネスエリアにおいて、1,2年生が自由に履修できる選択科目であるが、エリア内の位置づけとしては、第一ステップの演習科目だからである。本科目に引き続き、他のビジネスエリアの選択科目、特に後期の「ビジネス総合演習」を続けて履修する学生も多いことから、同科目にも継続して結果を反映させていきたいと考える。☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p>	<p>中間アンケートで、PPTが見にくい時があるとのコメントがあったので、これまでのシートを分割して表示するなどして文字を大きくした。結果、最終アンケートでは、中間アンケートの意見に対する取り組みに関して、100%取り組みが見られたと回答している。</p>	<p>この授業は、知識獲得を必要とするため、授業内だけでは学習時間が十分ではなく、宿題となる問題に丁寧に時間をかけて取り組まないと目標達成できない。学生の到達目標達成の認識と、予習復習にあてた時間とがほぼ比例しているのもその結果であると推察する。☑</p> <p>また、評価に関しても、Sが約40%であり、2時間以上、1から2時間の予習・復習をした学生の割合と同数である。いかに宿題に取り組ませるかが、今後の課題といえる。</p>

		(入力欄)	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	赤田 太郎	人間関係論	ディスカッション形式で進む講義のため	特に要望が出るよりも、いろいろな考えがわかるのでこの形式が良いということだった。	学びは進んだものの、シラバスのテーマが社会人向けのため、理解できても実践するためには、大学生の生活に合った工夫がもう1段必要だと感じている。
		臨床心理学	資格対策講座のため	前回の講義の反省を受けて板書での講義を行ったが、中間アンケートからは黒板を使って分かりやすいということだった。☑	この講義の課題として、ついてこれる人とそうでない人の差が大きい。☑ 病院実習のために義務的に受講するためだと思われるが、一方で資格の合格までの基準にまで学習レベルを持ちあげないとならないため、そのバランスをいかに取るかが、今後の課題である。
ラ	久保 覚司	医療事務総論	講義科目であり、話し方等が一面的になっていないか気になっていたため	講義中に自分が早口になってしまう事を気にしていたが、それよりもスライドを送るスピードが早いという意見が多かった。☑ そのため、1枚あたりのスライド時間を多めに取るように工夫した。☑ (説明方法を少し言い換えて再度説明する、重要な箇所はもっとゆっくり話す等)	到達目標については概ね達成できた。☑ ただし、中間アンケート結果の改善として、1枚あたりのスライド時間が増加したため、あまり重要ではないと考えている箇所を削減する等、☑ 影響のない範囲でシラバス内容を変更することになってしまった。☑ 次年度以降は、今年度の進捗を参考にして、ゆったりめで作成したいと思う。☑ また、指摘としては少なかったが、早口になってしまう件も改善するように努めたい。
ラ	吉井 珠代	解剖生理学	1) 授業の狙い(生命の神秘を知りそれを大切にすることの重要性と、心身のメカニズムを理解して健康の維持増進に努めることの重要性を伝える)が達成できたかどうかを把握するため。☑ 2) 私の授業での説明が、学生が理解できるレベルであったかどうかを知るため。	問1の設問に関して、88%の学生から「概ね満足」との回答があったのは、中間アンケートにて視聴覚教材の見え方についての学生からの意見を参考に、画面を拡大したり、映写時間を延長して、授業の内容をわかりやすく丁寧に説明することを心掛けたためと考える。☑	今年度の受講生の授業態度は例年に比べ良好であったが、期末テストの成績や途中で回収した課題レポートの完成度はさほど芳しくなく反省するところである。☑ 次年度以降は、伝えるべきポイントをよりコンパクトに絞り込んで、リアクションペーパーなどで確認しながら実施していきたいと考える。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	伏木 真理子	英語 (英会話A) い	必修科目のため	・進むスピードが遅い、もっと問題をどんどん解きたいという声があったので、問題に取り組む時間を短くし取り組み量を多くした。・英文の和訳を知りたいということなので、授業後ユニパに掲載するようにした（授業時に書き取る時間をとると書くのが遅いので、問題に取り組む時間が減ってしまうため）・PowerPointの字が小さくて見にくいということなので、大きくした。	・中間アンケートの学生の意見・要望に対して改善が見られたという回答は、そう思うとややそう思うを合わせて77%だった。・シラバスの目標達成については、ほとんど達成できた8%、かなり達成できた19%、少し達成できた54%で、合わせて81%だった。学生が感じた達成度と成績分布は比例している。・出版社が提供するCheckLinkというスマホで解答し、正答もスマホに掲載されるシステムが好評だったので、今後も活用しようと思う。
		英語（英会話A）ろ	必修科目のため。	テキスト本文等の和訳がほしいとの声があったので、ユニパにて配信するようにした。☑	学生の授業評価アンケートの結果は、達成できた74%、達成できなかった26%だった。☑ 学生の成績は、良が40%だった。（習熟度別クラス編成の影響有り。）☑しかし学生アンケートでほとんど達成できなかったは0%だったので、個人差はあれど何らかを得られたと思う。☑ 基本的な英文法の理解促進、日常生活やビジネス分野の語彙習得はできたと思う。☑ 今回はノートチェックを実施し音読筆写の進捗状況を確認したので、音読筆写の習慣はついたと思う。☑ 英語を話す時の声あまりに小さいので、しっかり声を出せるようにする工夫を検討したい。
ラ	黒田 恭史	文書処理演習Ⅱ（Word）	2回生開講で、パソコン操作の苦手な学生が多いと考えたため。☑	一人一人の進度に応じて、学習支援した。	まずまずであったが、欠席の多い学生への対応が課題である。
ラ	岡本 久仁子	表計算演習Ⅱ（Excel）	授業人数が多く、欠席も少なかったため。	中間アンケートでは、肯定的な意見が多く、唯一学生からの不満はGoogle Classroomからのファイルダウンロードに関するものだった。☑ （ファイルをダウンロードするのに時間がかかる⇒早めにダウンロードできるよう予約設定時間を工夫した）☑ 今まで通り、学生それぞれの進度に合わせてフォローしていった。	エクセルテストの結果は平均点も良く、成績に反映することができ、目標を達成できた。☑ ただ、一部欠席しがちな学生は内容の理解が及ばず、達成できなかった。

		(入力欄)	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	鶴田 美香	色彩とファッション演出	新規開設授業において振り返る。 <input checked="" type="checkbox"/> SNSやデジタル機器にたいする知識の格差を授業でどのように補うかが課題。また使用する機器の種類を限定すべきだと思いました。	一人一人声をかけ、楽しんで取り組めるようにした。	より具体的で特別な加工や知識の習得を目指していきます。
		ファッションブランディング	去年は1年生だけのクラスだったため、人数的な負荷がなくよい状態を維持できた。 <input checked="" type="checkbox"/> 今年からは2年生も参加し、行いたかった授業内容を妥協することがあったため、次年度に課題をのこした。	自分のファッションタイプをより深めたいようでしたので、パワーポイントを用い目でみてわかる授業とした。	センスに頼ることなく、ファッションのルールに基づいて自分を分析する機会が設けられた。 <input checked="" type="checkbox"/> 全体の指導にばらつきができないよう次年度も力を尽くしたい。
ラ	倉津 三夜子	アロマセラピー(演習含む)	担当科目はこの科目のみであったため。	中間アンケートの結果から、今期の学生が実習を楽しんでいることに合わせ <input checked="" type="checkbox"/> 座学にも関心を持っていることが伝わってきた。 <input checked="" type="checkbox"/> 例年は座学について”話しが長い”といった回答が複数見受けられるため <input checked="" type="checkbox"/> 座学は必要最小限に留め、実習の時間にゆとりを持たせるようにしていた。 <input checked="" type="checkbox"/> けれど、今期の中間アンケート後は、学生が関心を持つような内容を座学に盛り込むようにした。 <input checked="" type="checkbox"/> 関心が深まることで、学生が実習に積極的に取り組むようになった。 <input checked="" type="checkbox"/>	アンケートの結果から、学生自身も達成感があったように見受けられた。 <input checked="" type="checkbox"/> また、成績から見ても、レポート試験での実習の記録には <input checked="" type="checkbox"/> アロマセラピーの安全性や危険性を十分に理解して <input checked="" type="checkbox"/> 取り組んでいたことが反映されている。 <input checked="" type="checkbox"/>
ラ	森石 加世子	家族心理学	受講者数が、他の科目に比べて多いので、様々な意見を取り入れることができると考えたためです。	漢字を含め、ノートやレポートの筆記に時間を要する学生が多いことが結果から分かったため、その時間を増やすよう改善したり、漢字をひらがな筆記でも可能にしました。	授業を熱心に受け、授業中の反応からも理解が伺えた学生については、成績も良好でした。一方、演習授業には、積極的に参加ができていたものの、講義については、授業中の反応が薄かった学生については、成績も取れていなかったです。学生達の理解の差が大きい場合、個々の理解度に合わせた授業を行うことが今後の課題と考えます。

		(入力欄)	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	寺石 佳世	健康・栄養クッキング	前期に担当するのがこの授業だけなので	できるだけ、調理前の説明時に、手順や使用する調理器具について詳しく解説するようにしました。☑ ☑ 学生さんが、「15回授業を受けたかった」というコメントを記入されていました。☑ 今年度からシラバスの内容を変更し、離乳食や高齢者の向けの食事などを加えた分、普通の成人期向けの調理が減ったので、このような意見が出てきたと思われます。来年度、ご検討いただけましたら幸いです。☑ よろしく願いいたします。	10回の授業でしたので、アンケートを実施しませんでした…☑ 申し訳ありません。
ラ	数藤 晶子	テーブルコーディネート&テーブルマナー	中間アンケートを実施したため。	アンケート結果に、実習がありわかりやすい、日々の生活に役立つという回答があったので、より実習内容を充実させるように心がけた。	授業に熱心に取り組む学生と取り組めない学生の差が激しく、評価が成績に顕著に出ている。授業の最終段階で、学生にこの授業を履修して、今後どのように活用したいか確認する機会があったが、テーブルコーディネートやマナーなどを実生活で活かしたいとの回答が多かったため、ある程度の目標達成にはなったのではないかと思う。
ラ	兵頭 真由美	ビジネス実務総論	昨年とは違う科目を選びました。	中間アンケートでは、「とても分かりやすい」、「小テスト直前の復習時間ありがたい」、「ビジネス単語の意味をしっかりと説明してくれる」、「授業の改善点は特にない」など☑ 好評でしたが、さらに学びを深めてもらうよう、小テストや課題での学生さんそれぞれの苦手なところを確認し、細かくアドバイスしながら授業を進めました。	アンケートと最終評価によりシラバスの到達目標も達成できたと考えます。☑ 今年度は少人数のクラスで、これまで以上に個別の対応が進めやすかったです。☑ 今後のクラスでも理解を深めてもらえるよう、課題、小テスト、授業の進め方など工夫してまいります。☑
ラ	佐々木 研	ファッションビジネス概論☑	担当2科目のうちの1つ。	座学中心ではなく、ワークを多く取り入れるなどできるだけ立体的な授業を実施。	概ね到達目標はクリアしているが、出席率低学生についてはやや未達成。
		ファッションビジネス演習	担当2科目のうちの1つ。	座学中心ではなく、ワークを多く取り入れるなどできるだけ立体的な授業を実施。	概ね到達目標はクリアしている。

		(入力欄)	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	山岡 正弘	カフェプランニング	年々、受講生の関心度が高まっているので進め方の見直しを必要と感じたから。	実習についての個々の完成度を高めるために個別指導を心掛ける。	毎回、学生のモチベーションの向上が見られている。今後、個々の実習映像を撮り、見直し時間を設定すると良いと感じる。
ラ	藤堂 隆司	診療情報管理論B(医療法規含む)	担当がこの科目のみのため	中間アンケートの意見・要望では、字が小さい・記載箇所が多いという回答が数名いたので、改善に努めた。問1. 中間アンケートの意見・要望の取り組みは見られたか。そう思う：29% <input checked="" type="checkbox"/> 、ややそう思う：71% <input checked="" type="checkbox"/>	成績の結果 平均84点・再試験者：0名 問2. 積極的な参加を促す工夫について そう思う：57%、ややそう思う：43% 毎回、授業の最後に振り返り試験を実施したこと 問3. 予習・復習時間について 全員が1時間未満と回答したことで次年度の課題としたい。問4. シラバスに示された到達目標の達成度について ほとんど達成できた：57%、かなり達成できた：43% 授業の進め方で心掛けたこと：①できる限りわかりやすく説明した ②授業評価アンケートとは別に、毎回、授業に対する質問、意見・要望を求めたこと ③医療現場から最新の情報を入手することで、タイムリーに授業で提供したこと <input checked="" type="checkbox"/> 授業評価アンケートについて、14回目、15回目2週解答時間を設けたが、回答者数が少なかったことは残念であった。(ちなみに中間アンケートはほぼ回答はあった) <input checked="" type="checkbox"/>
ラ	馬場 住子	保育・教育課程論	授業への参加(出席など)率が高く、授業評価アンケートへの協力(回答率)がよりよく得られると思ったから。	授業のパワーポイントを印刷したものを配ってほしい、パワーポイントにページ数を入れてほしいという要望に応えた。 <input checked="" type="checkbox"/> 休憩時間は取らないでよい、途中の手遊び(保育実践に使える遊びの紹介)などの演習はいらぬ、電気を落としてほしいなどといった意見(自由記述)があったため、意見に従った。	本来は予習復習の時間を増やしてほしいと思うが、他の授業や色々忙しいとの声が聞かれたこともあり、学生の負担になるような課題はできるだけ出さないように心掛けた。そのため、学習時間は少ない結果が見られたことは課題として受け止めている。また、目標達成の意識についてはどのくらいを目指すか。その難易度は難しいと感じている。今後検討していきたいと考える。

		(入力欄)	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	松谷 治代	ブレット&テーブル演習	受け持ちはこの科目のみのため	特に早急な改善を要する内容はなく、中間アンケート前と同様に取り組みました	授業が5月30日で終了したため、最終アンケートは行っておりません。 <input checked="" type="checkbox"/> 一般的に、学生は真面目に積極的に授業に取り組んでくれており、シラバスの到達目標のほぼ達成できているように見られます。 <input checked="" type="checkbox"/> (報告書作成時点で、1名の学生からノートが未提出のため)
ラ	黒川 圭子	スポーツ I	学生が学年間を超え、成長が見られた授業であったと感じられたため、選択をした。 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	アンケートには、具体的な意見の記述はなかったので、授業態度や交わした会話を参考にしていた。 <input checked="" type="checkbox"/> 熱中症の予防対策として、下記を実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> ・教場の30分前に、小窓、扉の開放や扇風機による換気と風通しの実施。 <input checked="" type="checkbox"/> ・教場の変更による暑さ回避 <input checked="" type="checkbox"/> ・授業時間の短縮 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	2回生の少々ルーズな態度に、1回生の戸惑う様子や、授業実施のスポーツが、クラブ活動として経験済みの学生から初心者までと能力に差が明確であった授業開始当初から振り返ると、スポーツを通して <input checked="" type="checkbox"/> 2学年間での気遣いや思いやりの様子や、コミュニケーションの広がり、身体を動かすことやスポーツを楽しむ姿が見られたことは何より喜ばしかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 基本ルールの理解度は、個人差はあったが、ゲーム中など、学生同士で教え合う様子も見られた。 <input checked="" type="checkbox"/> 勝敗に対して本気で悔しがる姿も自然に増えていた。 <input checked="" type="checkbox"/> 「勝敗だけにとらわれず、積極的に運動・スポーツを楽しむながらコミュニケーション力や協調性を養う」点においては、達成できたと考える。 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 今後の課題 <input checked="" type="checkbox"/> ・暑さ対策による教場変更での実施内容の工夫について
ラ	柳 慎之介	hiphop III	アンケートを実施したため。	一人ひとりのアドバイスをもっと細かく伝えた。	少し休みが多く感じるので興味をもってもらえるよう伝え方を工夫する。
		hiphop I	アンケートを実施したため。	一人ひとりのアドバイスをもっと細かく伝えた。	少し休みが多く感じるので興味をもってもらえるよう伝え方を工夫する。

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	能美 智子	医療事務III（DPC含む）	1教科しか担当していないため。	毎回の小テストは多いとの意見でしたが、やめるのは学力に影響するため2回ほど課題提出に変更しました。	今年度の学生の成績は、到達目標より低めだったと思います。全体に理解度が低かったこともあり、繰り返し問題を解いて知識の定着を図りました。その分カルテの演習問題に取り組む時間が少なかったと思いますので、今後は自宅での復習時間を確保できるような課題を作成したいと思います。
ラ	瀬口 昌生	プレゼンテーション概論	この授業のみの担当であるため。	改善点が挙がっていなかったため、引き続き良い環境下での授業運営に努めた。	個人に対するアドバイスがもう少し適えば、より習熟が適ったかと考える。☑ 特に1年生にとっては、プレゼンテーションの数をこなすことで「慣れ」ていくため、次回はその点にも留意して授業を構成していきたい。
ラ	入野 遥	バレエ	より良い授業にするため	学生たちの体調、体力を考え、水分補給の時間を調節した。	学生たちは授業態度も意欲も、大変良かったと思う。この調子で後期も頑張って欲しい。
		JAZZ	より良い授業にするため	学生たちの体調、体力を考え、水分補給の時間を調節した。	学生たちは授業態度も意欲も、大変良かったと思う。この調子で後期も頑張って欲しい。
ラ	杉本 篤史	簿記入門	授業がこのクラスのみのため	ペースが速くなることがあるので理解できているかの確認をしながら授業を進めるようにした。☑	よくできる学生が多く確認テストの点数が想定より高かった。精算表の作成については、多くの生徒ができるようになった。☑ シラバスの達成目標については、ほぼ達成できたと思う。

		(入力欄)	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
ラ	堂東 由佳	色彩の演習(シルクスクリーン含む)		<ul style="list-style-type: none"> ・油性のインクの臭い対策。☑ →今年度はほぼ水性インクで授業を行った。☑ ・待ち時間の対策☑ →制作の各工程をスムーズに行えるよう、学生それぞれの制作スケジュールを随時アナウンスし、記録させるようにした。☑ 	<p>シラバスの到達目標には概ね到達したと思われます。☑</p> <p>シルクスクリーンの技術を修得し、技術の修得を通して、丁寧に作業することや工夫することを学べたので、とれます。☑</p> <p>また、作品やオリジナルのグッズ、雑貨制作を通して、学生が自分の生活を豊かにする選択肢が増えていたら嬉しいです。昨年度よりも「オリジナル」ということに注目し、アイデア出しや構想の時間を多く取ることができました。☑</p> <p>今後の課題は、さらに積極的な授業参加を促すため、シルクスクリーン以外の技法を取り入れたり、1講座完結(1回の授業で1つ作品を完成させる)の授業内容にできるようなシラバスの改編を行う。また、学外学習や、作品・オリジナル雑貨の展示を行う。☑</p>
ラ	西村 恭子	くらしのマナー	担当していた科目が本科目のみであったため	<p>本科目では学生たちにとってこれまでなじみのないビジネスマナーを中心に扱っていたため、事例を多く盛り込み、理解しやすい表現を用いて説明するように努めた。テキスト以外に書き込み式の補助プリントを併用し、スライドにはテキストの該当ページ数を記載するなど、授業の進行をスムーズに行える工夫を凝らした。☑</p> <p>また、毎回の授業で小テストを行い、知識の定着を図った。これらの取り組みに対して、学生からは知識が頭に入りやすく、マナーに対して理解を深められたとの好意的な声が上がられたため、引き続き授業の進め方の方針は変更せずに最後まで行った。毎回の小テストについては本人に採点を行わせ回収していたが、訂正して採点している学生がいるとの声が上がられた。自身で採点する趣旨を再度説明し、採点時の見回りを強化することで対応した。☑</p>	<p>評価アンケートの結果と成績を照合すると、学生自身の到達目標の達成度の自己評価と実際の成績との割合はおおむね近い結果となった。一方で学生個人のレディネスの差が授業への取り組み姿勢に影響しているように感じる。今後はレディネスに差があってもお互いに学びあえるような授業を設計していきたい。</p>

		(入力欄)	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	田尻 良	情報システム論	他に選択肢がなかった	中間アンケートで改善を要求する解答が一件もなかったため、特にアンケートをベースにした改善・工夫は行っていないが、前半の生徒の様子を見ながら、独自の改善・工夫は加えている。	そもそも過半の学生が「単位が取れればいいという気持ちで受講した」と、授業内の講師との会話で発言しているような状況下で、シラバスを完全達成すること自体に無理があることは自明である。☒ だが、たとえそのような態度で臨んだ学生であっても、「これだけ分かっておいた方がいいぞ」という前振りで話すときは、ちゃんと聞こうとしてくれる。☒ そういう「分かっておいた方がいい話」を上手く組み合わせ、少しでもシラバスの達成に近づけていくのが今後の課題である。
ラ	山田 久美子	調剤請求	調剤請求1科だけの担当のため	中間アンケートでは特に要望はなかった。☒ 「課題や提出物を丁寧に直してくれる」「前に提出物を書いてくれる」などの良い意見をいただいたので、引き続き、提出物には正解だけでなく計算方法や、解説プリントを添付し返却した。☒ また、提出物と提出期限、持ち物などはその都度前に書き説明をした。	調剤報酬のしくみや算定の基本はだいたい理解できているように思う。☒ 今年度は演習の時間を増やし、レセプト作成や、問題を解く時間を少し多くしたが、応用問題まではあまりできなかった。時間の工夫をして少し難しい問題も解けるようにしなければならない。☒ 調剤事務管理士技能認定試験の申し込みが今年度も少なく、また、申し込んだ学生は、試験対策への取り組みが非常に遅いように感じた。☒ 授業内だけの学習では合格は難しいため、個々の積極的な学習が必要であるが、質問も少なかった。☒ こちらからももっと積極的に声掛けをし、認定試験の受験者、合格者を増やすことが今後の課題であると思う。

2023年度後期 「授業評価アンケート」 報告書

教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保 合田 誠	保育実習指導Ⅲ	<p>保育実習の中で、唯一自己選択できる実習であるため。また、少人数でもあり、受講者一人ひとりに対して比較的丁寧に対応できるのではないかと判断からアンケート対象とした。</p>	<p>中間アンケートでは「良い点」がほとんどであった。内容的には施設に関して丁寧に細かく学習できる、自己課題の学習時間が十分確保されており学習内容が深められる、関連する視聴覚（DVD）学習に関しても学習内容のフォローアップに繋がっているなどであった。☑</p> <p>唯一、「改善点」としては、提出物が多すぎであった。この点に関してはアンケート実施の翌週に全体へ昨年と今年の施設実習に対する学習内容が異なることを再度説明し、「保育実習Ⅰ（施設）」と「保育実習Ⅲ」の違いを繰り返し説明した。☑</p>	<p>前述したように、「保育実習Ⅰ（施設）」（基礎）と「保育実習Ⅲ」（応用）を明確にするために、1年次では全くできていなかった施設内容や実習課題を重点的に取り組んだ。特に「実習課題」の設定は実習する上で、最重要課題であると位置付けている。単に、実習の日々を指導者の指示に沿って取り組むだけでなく、自らが問題意識をもつために「実習課題」を事前学習で徹底させることにより、子ども、職員、施設への視点が明確になる。☑</p> <p>ただ、今回のアンケート調査は最終授業時に実習課題の総点検に時間を充てていたため、時間切れとなった関係で各自でアンケート調査を口頭で促すのみになった。その結果、回答者数が3割しかなく、大変残念であった。今後は従来のように最終授業時にアンケート調査の時間をとり、回答を回収してはならない。</p>
	卒業ゼミ(合田ゼミ)	<p>1年間の長丁場の授業であり、かつテーマを絞った学習課題を設定しているために、学習効果を図るためにも最適の授業であると判断したため。また、受講者が少人数であり、一人ひとりの声に耳を傾けやすく、「ルーブリック評価」を導入している関係もあり、個別対応が実施できると考えたため。</p>	<p>中間アンケートの殆どは「良い点」が多く、例えば発表しやすい雰囲気である、虐待の実情を事例を通して学べる、テーマを深く話せる、知らないことを沢山知れるなどである。☑</p> <p>唯一の「改善点」は卒業研究をすすめるに当たって手書きかパソコンのどちらかに絞ってほしいとの要望があった。この点については、卒業研究レポート作成方法について説明する前に中間アンケートを実施した関係上、翌週直ぐに作成手段について説明をしておいた。</p>	<p>1年間という長丁場であるため、学内学習のみではなく、関連した学外学習も組み入れて、モチベーションの維持向上に努めた。受講生にとっては、学外学習は貴重な経験になった様で、学習効果の深まりに関連していった実感があった。☑</p> <p>今後の課題としては、一人ひとりの学習の深化の違いがあるため、議論する機会を意図的に設定したものの、話し合いの参加度合いに差があった。これからも人前で自分の意見を述べる経験ができるように授業設定を考えたい。☑</p> <p>今年度も「ルーブリック評価」を通じて個人面談の機会を確保し、卒業研究レポートの進捗状況の確認や個別アドバイスができ、この評価に関しても次年度以降改善点に定着したい。</p>

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	鍛治谷 静	子ども家庭支援の心理学 (1・2・3組)	クラス間の比較が可能な科目だったため。	改善要望はスライドの速さ、ノートの量などであった。どちらも個人差の出る部分なので全体への声掛け、個々の様子を見るなど心掛けた。	実際の成績と学生の自己評価に大きなギャップはなかった。到達目標をほぼ達成できていた。教授内容が多岐にわたる上、ボリュームも多く、今年度も後半は駆け足になってしまったのが反省点である。発達心理学（1年前期）→本科目（1年後期）→子どもの理解と援助（2年前期）のつながりを意識した授業計画を考えていきたい。
		子ども家庭支援の心理学 (4・5・6組)	クラス間の比較が可能な科目だったため。	1限のためか、こちらのクラスの方が出席率が低かった。改善要望はスライドの速さについてで、個人差の出る部分なので全体への声掛け、個々の様子を見るなど心掛けた。スライドをそのまま資料として配布せずノートにとるよう指示しているが、「自分なりにまとめられる」「見返したとき大事な部分が分かりやすい」とのコメントがいくつかあった。（1・2・3組も）プリントも併用していて、ノートにとる内容と分量を毎年見直していることが学習の役に立っていたならう	実際の成績と学生の自己評価に大きなギャップはなかった。到達目標をほぼ達成できていた。教授内容が多岐にわたる上、ボリュームも多く、今年度も後半は駆け足になってしまったのが反省点である。発達心理学（1年前期）→本科目（1年後期）→子どもの理解と援助（2年前期）のつながりを意識した授業計画を考えていきたい。
保	香月 欣浩	幼児と図工Ⅱ (1. 2.3組)	1年生の前期にも対象としたので、変化を知りたかったから。	ありがたいことに、改善してほしいことは書かれていませんでした。☒ ただ、時間が短いという声があったので、できるだけ前半の点呼や説明を短くする努力をしました。	到達目標、「ほとんど達成できた」「かなり達成できた」22名と、比較的学生が実感できているようなので安心した。☒ 次年度はさらに学生が成長を実感できるように、改善をしていきたい。☒ 中間アンケートから改善を行なったが、口頭でどのように変えたか伝えなかったため、学生回答「あまり思わない」が3人いたのかもしれない。☒
		幼児と図工Ⅱ (4.5.6組)	1年生の前期にも対象としたので、変化を知りたかった	自由席にしてほしいとか、エアコンの温度を下げてほしいとか、難しいことはありましたが、特に改善してほしいことは書かれていませんでした。☒ ただ、このクラスも振り返りシートを書く時間が短いという声があったので、できるだけ前半の点呼や説明を短くする努力をしました。	中間アンケートから改善を行ない、学生回答も「あまり思わない」が1名のみなので、改善を実感してくれていると安心した。☒ 到達目標、「ほとんど達成できた」「かなり達成できた」16名と半数にとどまっている。☒ アンケートの回答率が低いことも課題であるが次年度はさらに学生が成長を実感できるように、改善をしていきたい。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	阪野 学	子ども家庭福祉 (1・2・3組)	<p>学生の声を少しでも聴き授業に反映するため卒業ゼミ以外の全科目で中間アンケートを実施している。そのため授業評価アンケートも実施したものである。</p>	<p>毎回の授業においてアクティブラーニングとして学生にシャトルシートの提出及び答え合わせをして間違い訂正をした後再提出を課している。シャトルシートには要望があれば挙げてもらえる様に項目を設けている（要望については、積極的な受講態度として評価し加点する事を学生に伝えている）。要望については、必ず次の授業でリアクションしている。対応の難しい内容については何故対応できないのか説明をしている。そのため中間アンケートには取り立てて要望は無かった。☑</p> <p>しかし、毎授業のシャトルシートには、シャトルシートを授業の開始時配布して欲しい、パワーポイントのシャトルシートの問題の回答にあたる箇所はアンダーラインをして欲しい、パワーポイントを見やすくして欲しい、テキストのアンダーラインを引く所が分かり難い事があるので配慮して欲しい、アクティブラーニングを導入して欲しい、授業の後半が急ぎ足になるのでペース配分を考えて欲しい等の要望があった。何れも次の授業で要望のあった旨を説明し改善を行った。</p>	<p>シャトルシートを導入した目的は授業内容の習熟度を挙げ学生達がシートを活用して誰でも質問や要望が挙げられる事が出来る様にするためである。そして更に毎回の授業内容について考察文を書かせ添削の上返却し訂正させ文章力を向上させるためである。その結果予習も含め学外学修時間の確保に繋げている。但し、学生達に過度な負担が掛からない様に要望や本アンケートの結果に留意している。☑</p> <p>以下アンケート結果からの考察を述べる。☑</p> <p>☑</p> <p>問1 「そう思う・ややそう思う」が全体の約91.6%更に学生達からの要望の改善に努める。</p> <p>問2 「そう思う・ややそう思う」が全体の75%シャトルシートがアクティブラーニングである事を説明する。</p> <p>問3 全体の50%の学生達が30分から1時間の学外学修時間が確保できており、同じく約22%の学生達が1～2時間もしくはそれ以上の確保ができています。そして、同じく約27.8%の学生達は30分以内しか学外学修時間の確保が出来ていない。この学生達の割合を少なくするための具体的な方策を立てる。</p> <p>問4 「ほとんど達成できた・かなり達成できた」が全体の約47.2%であった。達成状況を上げるための具体的な方策を立てる。</p>

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	阪野 学	子ども家庭福祉 (4・5・6組)	<p>学生の声を少しでも聴き授業に反映するため卒業ゼミ以外の全科目で中間アンケートを実施している。そのため授業評価アンケートも実施したものである。</p>	<p>毎回の授業においてアクティブラーニングとして学生にシャトルシートの提出及び答え合わせをして間違い訂正をした後再提出を課している。シャトルシートには要望があれば挙げてもらえる様に項目を設けている（要望については、積極的な受講態度として評価し加点する事を学生に伝えている）。要望については、必ず次の授業でアクションしている。対応の難しい内容については何故対応できないのか説明をしている。そのため中間アンケートには取り立てて要望は無かった。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>しかし、毎授業のシャトルシートには、シャトルシートを授業の開始時配布して欲しい、パワーポイントのシャトルシートの問題の回答にあたる場所はアンダーラインをして欲しい、パワーポイントを見やすくして欲しい、テキストのアンダーラインを引く所が分かり難い事があるので配慮して欲しい、アクティブラーニングを導入して欲しい、授業の後半が急ぎ足になるのでベース配分を考えて欲しい等の要望があった。何れも次の授業で要望のあった旨を説明し改善を行った。</p>	<p>シャトルシートを導入した目的は授業内容の習熟度を挙げ学生たちがアクティブラーニングとしてシートを活用して誰でも質問や要望が挙げる事が出来る様にするためである。そして更に毎回の授業内容について考察文を書かせ添削の上返却し訂正させ文章力を向上させるためである。その結果予習も含め学外学修時間の確保に繋げている。ただし、学生に過度な負担が掛からない様に要望や本アンケートの結果に留意している。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>問1 「そう思う・ややそう思う」が全体の約82.9% 更に学生達からの要望の改善に努める。</p> <p>問2 「そう思う・ややそう思う」が全体の約71.4% シャトルシートがアクティブラーニングである事を説明する。</p> <p>問3 全体の34.3%の学生たちが30分から1時間の学外学修時間が確保できており、同じく約14.3%の学生たちが1～2時間の学外学修時間が確保できている。そして、同じく約51.4%の学生たちは30分以内しか学外学修時間の確保が出来ていない。この学生たちの割合を少なくするため具体的な方策を立てる。</p> <p>問4 「ほとんど達成できた・かなり達成できた」が全体の約37.1%であった。達成状況を上げるための具体的な方策を立てる。</p>

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	金川 朋子	特別支援教育総論Ⅱ	担任クラスを含むため	授業提示資料についての意見があり、 <input checked="" type="checkbox"/> パワーポイントの背景の色を変更し、より見えやすく、疲れにくいように工夫をした結果が示されたと考え。 <input checked="" type="checkbox"/> 10/12 83%が肯定的な評価を示している。	授業外の時間の取組が少なく、授業内での理解をより深める取り組みを今後検討していきたいと考える。 <input checked="" type="checkbox"/> (30分未満9/12 75%) <input checked="" type="checkbox"/> 授業の達成目標に関する学生自身の自己評価は、 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど達成できた1 かなり達成できた6 少し達成できた5 <input checked="" type="checkbox"/> あまり達成できなかった ほとんど達成できなかった0 であり、 <input checked="" type="checkbox"/> 学生たちが多むね到達目標を達成できたと感じている。 <input checked="" type="checkbox"/> 多くの障害がある中で、代表的な内容について取り組んできたが、 <input checked="" type="checkbox"/> 障害のとらえ方、保育者の対応についてともに考えてきた。 <input checked="" type="checkbox"/>
保	木村 美佳	乳児保育Ⅱ	乳児保育の授業改善をするために、中間アンケートでとった学生の意見からさらに充実した授業を行うため <input checked="" type="checkbox"/> また、前半クラス、後半クラスに齟齬が出ないように、見極めるため。	中間アンケートは、実践に近い形式の授業や体験、また動画を視聴することで学びが深まるという意見が多かった。 <input checked="" type="checkbox"/> そのため、後半も体験型を増やし、例年なら画像を多くしていただけたが、体験型も多くなった。	体験を多くしたが、実習期間で最後の授業間隔が開くため、継続した体験授業がしづらいということも事実である。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスの到達は、授業を聞き、参加している学生にとっては到達できていたと思われる。 <input checked="" type="checkbox"/> しかし、授業中にほかの課題をしたり、眠っている学生は、授業の参加ができていないため、到達が難しい現状があったと思われる。
		こどもの保健	2年次に実施される子どもの健康と安全の基礎知識授業となるため、学生の意見を反映した授業実践をするために選択した。	かなり内容が難しいとの意見が多かった。したがって、スライドの見づらさやプリントの内容を改善し、見やすく、わかりやすく、説明を短縮明確化したものにした。	保育学生にとって医療知識の理解はとても難しく感じた。生物学の知識を含む理科の基礎知識が足りない学生もおり、補いをしないと理解到達が難しい学生もいた。 <input checked="" type="checkbox"/> 再試験を実施し、到達が難しい学生にはさらに学びを深めてもらえたと思われる。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	千田 耕太郎	幼児と音楽Ⅱ (1・2・3組)	音楽系の教科で、1年生の全員が履修する唯一の教科だから。	中間アンケートの結果を担当する全教員で共有し、より丁寧なレッスンをを行うよう、申し合わせをした。	アンケート結果では、「ほとんど達成できた」と「かなり達成できた」の合計が23名と回答者数32名のうちの約72%を占めており、ここ数年のコロナ禍における達成状況よりも改善が見られる。☑ ただ、この授業の予習・復習にかかる時間を見ると、1～2時間や30分～1時間が多く、保育に必要なピアノの演奏力をつけるためには、さらに多くピアノの予習・復習に時間を割いてもらいたいと考える。
		幼児と音楽Ⅱ (4・5・6組)	音楽系の教科で、1年生の全員が履修する唯一の教科だから。	中間アンケートの結果を担当する全教員で共有し、より丁寧なレッスンをを行うよう、申し合わせをした。	アンケート結果では、「ほとんど達成できた」が2名、「かなり達成できた」が17名、「少し達成できた」が9名と、到達目標の達成度が1・2・3組に比べて低かった。☑ また、この授業の予習・復習にかかる時間を見ると、30分～1時間が最も多く、保育に必要なピアノの演奏力をつけるためには、さらに多くピアノの予習・復習に時間を割いてもらいたいと考える。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	森 麻希子	幼児と音楽Ⅳ (1・2・3組)	<p>幼児と音楽について、2年生で履修できる最後の授業であり、授業科目の特性上、個人レッスンや集団授業など内容が☑</p> <p>多岐に渡り、多くの教員が関わるため</p>	<p>アンケート結果を担当教員全員と共有し、改善点については共通の意識が持てるように申し合わせを行った。☑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団で使用するピアノの自習室について、使用の仕方を改めて注意、指導した。☑ ・ 課題表に掲載していない曲のランクについて、その都度、担当教員から説明を実施した。☑ ・ 授業内発表のグループ分けについては学生が主体的に実施できるよう十分に配慮している。基となる集団授業のグループ分けについては途中の変更が難しいため、来年度に向けての検討課題とした。 	<p>アンケート結果による学生の自己評価と、成績は概ね一致した結果となった。☑</p> <p>個人レッスンだけでなく、集団授業ではグループワークを多く取り入れ、演奏発表の計画、相互観賞も行った。☑</p> <p>幼児と音楽の集大成として、学生も達成感を得られたのではないと思う。☑</p> <p>ピアノについては就職試験や実習課題の対策についても、学生にヒアリングしながら指導をした。☑</p> <p>今後の課題として、学生が主体的に発表内容を計画、実施するための効率的な時間設定と環境の検討と授業計画について見直しが必要だと感じた。☑</p>
		幼児と音楽Ⅳ (4・5・6組)	<p>幼児と音楽について、2年生で履修できる最後の授業であり、授業科目の特性上、個人レッスンや集団授業など内容が☑</p> <p>多岐に渡り、多くの教員が関わるため</p>	<p>アンケート結果を担当教員全員と共有し、改善点については共通の意識が持てるように申し合わせを行った。☑</p> <p>時間配分についての要望が多くみられた。グループ毎の合奏練習のための楽器の使用時間などは授業内で柔軟に確保した。☑</p> <p>1つの取組みに集中できるよう全体のバランスを見ながら改善を行ったが、次年度の課題としても引き続き検討したい。</p>	<p>アンケート結果による学生の自己評価と、成績は概ね一致した結果となった。☑</p> <p>個人レッスンだけでなく、集団授業ではグループワークを多く取り入れ、演奏発表の計画、相互観賞も行った。☑</p> <p>幼児と音楽の集大成として、学生も達成感を得られたのではないと思う。☑</p> <p>ピアノについては就職試験や実習課題の対策についても、学生にヒアリングしながら指導をした。☑</p> <p>ただ、声楽・合奏などを毎週取り組むために時間を細やかに設定したために、1つの取組みに対して満足感を得られない学生もいたようだ。☑</p> <p>学生がより授業に対して充足感を得られるように、授業計画、時間配分について考え直す余地があると感じた。☑</p>

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	阪江 豪	幼児と言葉	保育内容5領域の一つであり、子どもの育ちに必要とな	授業内容の中で、組み立てを変更した。☒ 学生へのフィードバックを多めにした。	概ね達成していると感じるが、本当の意味で理解しているか不明であるため、来期からは学生主体の授業回を増やそうと考えている。
保	松下 明日香	保育者論	初めての保育実習を経た学生が受講する科目である。そのため、講義内容の保育者の職務内容や社会的責任、求められる資質能力等について学生が自分事として受け取りやすいタイミングであるという意味で重要な科目だと考えたため。	中間アンケートでは、保育者の職務内容や具体的関わりにおいて、実践的な活動を増やしてほしいという要望があった。そこで教授内容に支障のない範囲で、予定よりも実践的な活動を増やし、実感を伴った学びが得られるよう工夫した。	おおむね達成できたと言える。特に到達目標1「保育者の今日的意義と役割、資質能力について理解する」については、自分自身で保育者としての資質を向上させていくために、学び方や学ぶ習慣についても講義内で取り扱った。アンケート結果から、回答者の6割以上が事前事後学習に30分から2時間程度費やしていることが分かり、講義内でも自主的な課題に意欲的に取り組む姿が見られた。今後の課題としては、意欲的に学ぼうとする学生の割合を増やすべく、学びへの動機付けを工夫していきたい。
保	竹歳 賢一	情報機器演習	平均的な学習態度と学力があるクラスだから。	授業内容の習熟度の差があるので、授業進度を全体の進捗状況を確認するよう心がけた。	学生のアンケート結果はシラバス到達目標について100%肯定的な回答であったことから、学生と満足度の高さがうかがえる。成績の観点からみると授業内に作品が完成しない学生が毎回数名いた。今後の課題として、内容が難しいと感じている学生には十分に目を行き届かせてより適切な指導をおこないたい。
保	馬場 住子	保育内容総論	特にこのクラスでなければいけない理由はなかったが、3限であることから出席率がよいのではないかと思います。選びました。	定期考査の問題用紙が小さくて読みににくく、書きにくいとの意見があったので、定期考査の用紙をA3に拡大し、読みやすく、見やすくした。☒ パワーポイントの配布、パワーポイントにページを書き込むなどを希望する学生がいたことから、パワーポイントを配布、パワーポイントにページを書き込むなどの改善をしました。	この授業の予習・復習時間が30分未満の回答が多かったため、もう少し課題を増やしてもよかったのではないかと思います。シラバスの到達目標の達成度についてはおおむねかなり達成できた・少し達成できたという回答であったため、今後の課題として、達成できた学生が思えるような授業改善を行う必要があるのではないかと思います。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	山田 千枝子	教育方法・技術論	4月から現場にでる学生が不安に思うことなく楽しく保育ができるように授業の参考にするためにアンケート調査を実施いたしました。	グループでのワークショップを多く取り入れましたがうまく討議ができないところもありました。☒ KJ法の説明をわかりやすくしてとりいれることで、スムーズにグループ全員が意識してワークショップができるようになった。☒ また保育のイメージがわかりやすいように、現場の先生に話してもらうことで、不安を取り除くことができたようです。	現場の施設や園によっては、教育方針・指導内容・環境が違います。理想的な環境の設定や理念をのべましたが、うまく溶け込んでいく力が身に付けることができると思います。そのためにいろいろな考え方があることなど幅を広げる為に色々なもの・ことを自分なりに考えてのぞめることが必要である。そのことがワークショップやレポート課題で感じ取れることができた。（一部の学生を除いてですが）
保	保科 和久	社会福祉概論	これだけが、担当だから	講義の進度を少し、遅くしました。	まずまず、到達できたと考える。
保	堀口 節子	教育相談	一番回答率が高かったから（64％）。	中間アンケートから、「話すスピードが速い、パワーポイントの進行が早い（書くのが追い付かない）、プリントとパワーポイントの内容が違うの見にくい」などの☒ 指摘があったので、授業を進めるスピードをゆっくりを心掛け、プリントの内容を出来るだけパワーポイントの内容に添った形に作り変えた。	問1の「取り組み」に対する評価は、94%がややそう思う以上の評価があり改善が認められたと思う。また、問2の「授業の工夫がされていたか」に対する評価は81%がややそう思う以上の評価があり、授業に対しての改善や工夫は評価されたと考える。問4の「シラバスに示されている到達目標」については、56%が少し達成できた、37%がかなり達成できた以上の評価はあったが、今後も目標に到達できるようにわかりやすく授業の工夫をして行きたいと思います。☒
保	小川 健二郎	社会的養護Ⅰ	担当科目すべてで実施。	配付物の配布の仕方の変更。パワーポイントの表示の仕方の変更。講師の話す立ち位置についての配慮。マイクや音楽を流す際のボリュームへの配慮。学生の提出物のお披露目の際、個人情報への配慮等を改善。	回答率の低さについて、回答を依頼した際に他の提出物の作業と一緒にしたことが反省。☒ 到達目標については概ね良好と感じる。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	山崎 久子	在宅保育	<p>中間アンケートの回答数、内容もこちらのクラスが多様だったので☑ こちらを選択いたしました。</p>	<p>学生の中から私語が多い他の学生への指摘があり、また、☑ グループワークが負担という意見もあった為、個人への課題☑ 作成、講評へと切り替えました。☑ テキストの使用ではコロナ禍の影響を考え、除菌シートを☑ 用意してのマイクでの音読をすすめました。☑ ☑ ☑</p>	<p>教員としてこちらでは2年目を終えることができました。到達の達成は思うようには☑ なかなかいかず、テキスト内容をふまえての実践へと繋がらなかったのですが実感がわか☑ ないようでした。全般的には学生としたのマナーは大変良く、諸先生方のご指導のおかげと深く感謝しております。☑ 来年度はテキストの活用と課題内容の充実、学生の注目度の引き上げに努力いたします。</p>
保	大庭 夕穂	英語（英会話B） （1・2・3組）	<p>前期に引き続き本クラスを選んだ理由は、一年を通じて学生からの意見を取り入れ、来年度以降の授業づくりに活かすためです。☑ また、本クラスは継続的に授業への出席率が高く、アンケート回答率も高かったため、学生の意見がより反映されていると考えます。☑</p>	<p>・「スライドが早い、もう少し遅くしてほしい」という意見に対しては、学生が板書する時間を十分にとれているか、授業の内容についてこられているかを確認しながらスライドを進めるようにしました。☑ ・「間違ったら恥ずかしいので、当てないでほしい」という意見に対しては、当てることの意義を説明した上で、引き続き実践しました。答えを出すまでに学生同士で調べたり相談する間を与えることで、協力し合って課題に取り組む姿勢が見られました。☑ ・「寝ている人がいるので楽しい授業にしてほしい」という意見に対しては、「理解できないから授業がつまらない」という状況を防ぐために、授業時間内に復習の機会を設けることにしました。知識が増える喜びや達成感をできるだけ味わってもらえるよう、小テストを隔週に設定しました。また、保育の実体験や子育ての経験談を盛り込んで、学生が飽きないような授業展開を考えました。さらに、英語で工作やお絵描きをしたり、歌を歌ったりといった時間を設けることで、テキストで学習したことを実践に落とし込む工夫をしました。☑</p>	<p>本科目では、テキストの内容に即した問題に答えられるだけでなく、そこから派生して自分の意見を述べたり創造的に考えることができるような活動を行いました。それを踏まえた上で、アンケート結果と成績の両方を鑑みて、シラバスの到達目標は概ね達成できたと考えます。</p>

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	工藤 真由美	教養の文学	授業目標として「小説を読み味わう」ということを掲げているが、履修生の中には、授業を積極的に履修登録した学生と、卒業の単位の関係で履修登録した学生とが混在しており、そのような学生間の温度差が、授業評価にどのように反映されているかを確認したかったため。	中間アンケートでは、教室の空調の効きが悪いことを挙げる学生以外、要望はなかったので、温度管理に気を付け、まめに学生の声を聴くように声掛けた。アンケートでは満足度の高い数字が出ている。	学生の自己意識よりも、実際の到達度のほうが上振れしており、学生には自信を持ってもらいたいと感じる。今後は日々、自己の取り組みが高い評価を受けていることを実感でき自己評価の向上につながるような取り組みを工夫したい。
		卒業ゼミ（基礎）	第二希望以降の希望で配属された学生が多く、その満足度を知りたかったため。	中間アンケートでは全く要望が出なかったので、それに対して特に工夫したことはない。学生が自らの関心によってテーマを掘り下げることができるようサポートするように努めた。	8割の学生が、到達目標を「ほとんど」「かなり」到達できたと回答しており、それは成績評価とほとんど乖離はなかった。今後は全員が到達目標を達成できたと回答できるように自主的な取り組みに対しても細やかにサポートしていきたい。
ラ	中川 玲子	子どもの食と栄養（C組）	2コマ続きの授業で学ぶ内容が多いため、授業で様々な工夫を行っている。学生の率直な意見を知りたいと考えるとともに、学生の声に耳を傾け、学びへの意欲を高め、授業のシラバスに示した到達目標の達成度を上げるための改善を行いたいと考えたため。	中間アンケートでの学生の要望に合わせて、以下の点を改善した。☑ ・授業プリントの穴埋め箇所を少なくし、重要な点を見やすくした。☑ ・穴埋めしない重要な箇所は、太字にし、さらに下線を引いて強調した。☑ ・プリントの書き込み時間を多めにとり、記入が終わってから解説を行った。☑ ・授業ごとの目的と重要事項を授業の最初と最後に示した。☑ 学生の意見、要望に対する取組みがみられたかの問いには、（ややを含めて）そう思うと全員が答えた。☑	アンケート回答者の94%が「ほとんど」、「かなり」、「少し」を合わ「達成できた」と評価した。あまり達成できなかったと回答した学生は1名、ほとんど達成できなかったと回答した学生は0人だった。達成できたと回答した学生の達成度に関する自己認識は、「ほとんど」1名、「かなり」8名、「少し」7名だった。より高い達成感が得られるように改善することが今後の課題である。
		食の科学A	食・健康エリアで「栄養」に関する基礎知識を修得させる中心的科目であるため。	1名を除く学生から改善要望は出されなかった。1名からは、授業プリントの記入にもう少し時間をとって欲しいと要望があり対応した。学生の意見、要望に対する取組みがみられたかの問いには、（ややを含めて）そう思うと全員が答えた。また、86%の学生から、積極的な参加を促すための工夫がされていたと回答された。	アンケート回答者全員が「達成できた」と評価した。今後はより高い達成感が得られるように改善することが今後の課題である。

教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ 伊東 めぐみ	医療事務Ⅱ	医療事務エリアの授業を学んだ学生のほとんどが、1年前期医療事務Ⅰ→1年後期医療事務Ⅱと履修します。☑そしてこの授業の内容が診療報酬業務の点数算定であり、一般的に学生が理解するために苦心する内容であることから、できるだけわかりやすい授業にして、理解度を上げたいと考えていますので、その参考にさせていただきたいという理由です。	中間アンケートでは、改善してほしいことについてほとんど見受けられなかったのですが、「授業のスピードが速い」という意見が2件ありました。授業のスピードに関しては、15回目の最終授業までに予定されている内容を進まないといけなないので、難しいところではありますが、例題の数を少し減らして、1つの例題の割く時間を増やし、解説を丁寧にするよう心掛けました。こういった調整については毎年度行っていますが、受講する学生によって受け止め方が変わるので、更に微調整をする必要性を感じました。	授業評価アンケートの結果では、「ほとんど達成できた」「かなり達成できた」にチェックをしている学生が約80%に対して、授業の評価は秀・優合わせて約45%であり、学生の自己評価と実際の評価には開きがあった。しかし、良の評価を得ている学生が約30%であり、全体としてはシラバスの到達目標を約75%の学生が概ね達成できたということだと考える。一方で、不可となった学生も2名おり、復習を行って再試験で単位が取得できるところまでには到達してほしい。
	医師事務作業補助実務演習	医師事務作業補助者として働くために、スキルとしては書類作成、知識としてはカルテ記載事項の理解を中心に学ぶ授業です。これから医師事務作業補助者の需要は更に高まるとされており、医療事務職での就職を希望している学生の多くが医師事務作業補助者として採用されていくと考えます。そういった背景から、この授業の内容を更に充実させていきたいと考え、学生のアンケート回答をその一助にしたいと思い選びました。	中間アンケートでは、改善してほしいことについての記載が見受けられませんでした。☑自主的に行ったこととしては、テキストの例題を授業で行う際、テキストの記載ページの関係上、学生達が例題を見ながら解答することに苦心していたため、一部コピーして配布することで例題と解答欄を並列にすることができ、解答しやすくなりました。今年度から新しいテキストを使用したため、実際に授業で使用することによって気づかされるのがいろいろとありました。	授業評価アンケートの結果では、「ほとんど達成できた」「かなり達成できた」にチェックをしている学生が約40%に対して、授業の評価は秀・優合わせて約35%であった。授業評価の良獲得者は約45%、可獲得者は約20%であり、シラバスの到達目標を達成したと考えられる者は秀・優獲得者の約35%、良獲得者が約45%で、ここまでの総数約80%の者が概ね到達目標を達成できたということになる。残り約20%の者が可獲得者であり、一定の理解には到達出来ていると考えられるが、この授業の内容が医師事務作業補助者の業務と直結していることを考えた上において今後の課題としては、少なくとも全員良以上の評価が得られるよう理解度の向上を目指したい。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	安谷 元伸	情報倫理	「なわてドリル」など様々な学習要素を取り入れて毎年度調査している授業のため	中間アンケートでは「眠たい」との意見が見られたため、内容と資料デザインの再構成に取り組んだ	資料等のリデザインに取り組んだ結果、問1では「そう思う」「ややそう思う」を合わせて100%となり、取り組みでは成果が得られた。また、内容を再構成した結果、問3の授業外学習に取り組む時間については昨年度よりも上昇が見られた。しかし、問2の積極的な参加を促す工夫で「そう思わない」が1名、問4のシラバスの到達目標達成率で「あまり達成できなかった」が1名見られたことから、さらなる授業内容の充実等を進めていきたい。
		卒業ゼミ（基礎）	ペンタブレット等の入力端末を用いた取り組みを進めたため	時間配分の見直しとアプリケーション操作に関する説明時間の確保	問1の回答では、「そう思う」「ややそう思う」を併せて100%となり、中間アンケートで寄せられた課題提出の時間確保、制作過程の説明の充実等の要望に対応が取れたと判断できた。また、問2の積極的な参加を促す工夫では「ややそう思う」が1名で「そう思う」と合わせて100%、問4のシラバス達成率では「ややそう思う」が66.5%、「そう思う」「少しそう思う」で33.5%と合わせて100%となり、全体として学生の主体的学びを目的とした授業を進めることができたと考えられる。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	赤田 太郎	人間関係論	ディスカッションを多用する講義のため	話しやすいということで改善を求められていないので、現状で進めた。	やや達成できたを選択する人が多かったので、内容の精査が必要かと感じている。
		カウンセリング演習	実習が多いので選択した	受講態度が悪い学生がいることが気になるということだったので、動きを取り入れた講義を行った。☑ その結果、当該学生も参加することができたと考えている。	「かなり達成した」を選択する学生が多く、目標を達成したと考えている。
ラ	河合 真知	ビジネス総合演習	本科目は、ライフデザイン総合学科ビジネスエリアの演習科目であり、前期設置の「ビジネス実務演習」で習得したビジネス実務の基本的な能力をより発展させ、実践力を身に付ける科目である。よって、授業評価と成績との関係の検証が必要だと考え、対象とした。	中間アンケートでは、解説が丁寧でわかりよいとのコメントが見られ、特に改善希望点は示されなかった。☑ 授業後半では、ビジネス演習の仕上げとして、正しい敬語で話す来客対応のロールプレイングを徹底して実践した。	「積極的な参加を促すための工夫（質疑応答、課題の発表、グループワーク、コメントペーパーなど）がされていきましたか。」に対し、71%が「そう思う」、29%が「ややそう思う」と回答しており、演習科目として一定の授業評価がなされていると考える。☑ また、成績面でも、「秀」40%、「優」30%、「良」20%と全体的に好成績となったことは、一定の学習成果もあったと推察される。
		キャリアプランニング [A]	本科目は、ライフデザイン総合学科ビジネスエリア1年生を中心に準必修科目であると呼びかけ、積極的履修を促している。自らのキャリアを考え、自らの就業力の現状と課題を見つけ、能力開発を行う一歩とする、就職活動及び将来に向けた重要な授業であるため、授業評価を省みることとした。	中間アンケートでは、授業内の模擬面接練習方法について、「他の学生の前での実施は、プライバシーに関わると感じるため、やめてほしい」との意見が見られた。数年来、同様の形態で実施していたが、初めての意見であった。しかし、この意見を受け止め、小グループで実施したり、回答項目を選択制にするなどの工夫を行った結果、最終アンケート「中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたか」で、39%が「そう思う」、44%が「ややそう思う」と回答しており、改善取り組みに一定の評価を得たと考える。	本授業は、正解のない自己のキャリアを考える授業であり、到達目標をどの程度達成できたかは、各学生の自己探索の深さによる。☑ 成績評価の面では、就活準備に向けた書類作成等も含むため、「秀」12%、「優」24%、「良」20%、「可」16%とばらつきがみられるが、学生自身の評価では、「ほとんど達成できた」22%、「かなり達成できた」39%、「少し達成できた」28%と、「達成できた」と感じている学生が89%であった。自己分析の面でかなり進んだと感じる学生が多いのではないかと推察され、授業科目としては一定の評価を得たと考える。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	久保 覚司	ICDコーディング 実務演習2	昨年度より教材や講義の進め方を大きく変更したため、学生の理解度や満足度を調査したかったため。	<ul style="list-style-type: none"> ・話すスピードに気がつけた<input checked="" type="checkbox"/> 話を聞き終わってからメモを取る学生がおり、板書を写す時間がないと指摘があった。<input checked="" type="checkbox"/> 講義中ずっと一方的に話しているのではなく、何も喋らない時間を少々設け、机間巡回して状況をチェックするように変更した。<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ・学生と対話する形式にするよう心がけた<input checked="" type="checkbox"/> 上記と同様で、一方的に話すのではなく、対話形式に変更して時間にゆとりをもたせた。 	<p>中間アンケート以降、これまで以上に話すスピードについては気がつけた。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>結果として、今回のアンケートに反映されたのではないかと思う。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p>教材や講義の進め方については、次年度も本年度と同様の方向で実施したい。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>一方で、机間巡回をしっかりし、時間にゆとりを持たせていきたい。<input checked="" type="checkbox"/></p>
		ウェブプログラミング 演習	関連科目を履修済の学生、未履修の学生が混在しており、学生の満足度について不安があり調査したかったため。	<ul style="list-style-type: none"> ・講義資料（スライド）の作り替え<input checked="" type="checkbox"/> 講義資料の一部で、見えづらいとの指摘があり、改修した。<input checked="" type="checkbox"/> （講義資料はテキストはなく、全てスライド+板書で対応しているため）<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ・テキストの有無の確認と推薦図書の公開<input checked="" type="checkbox"/> テキストを使わない現在の形態で不満と答えた学生はおらず、逆にコストダウンのため不要との意見が多かった。<input checked="" type="checkbox"/> そのため、推薦図書としておすすめの書籍を紹介、一部の学生に貸し出した。 	<p>学生によって能力差が出てしまったため、関連科目未履修の学生に合わせる形で講義を進めた。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>結果として、履修済の学生より不満が挙がることはなかったが、不満を感じられることのないように工夫したいと思う。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p>次年度もっとも机間巡回の機会を増やし、各々学生の理解度に応じた講義ができるように努めたい。</p>
ラ	吉井 珠代	介護概論	私の担当科目の中で履修者数の多い科目であることと、日本では高齢者が増え続けているため、近い将来すべての学生に必要となる「介護に関する知識を身につけてほしい」という授業の狙いが宿っているかを確認するため。 <input checked="" type="checkbox"/>	<p>「視聴覚映像や文字が見にくい」という意見に対しては、全員に確認して、可能な限りそれに対応した。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>また、中間アンケート後は毎回、授業終了前に「学んだ内容の確認と授業の感想」を求め、参加意欲を高めるようにした。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>当該科目は担当して4年目だが、今年は、授業態度および成績の何れにおいても最高の結果を得ることができた。<input checked="" type="checkbox"/></p> <p>前述したように、中間アンケート後コメントペーパーを毎回求めたが、回を重ねるごとに記入内容が良くなっていったので、「授業到達目標の達成」に期待を寄せていたのであるが、結果を見てそれが証明できたのではないかと考える。<input checked="" type="checkbox"/></p>

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	鶴田 美香	色彩の基礎II	色彩の基礎Iからの流れでより理解が深まっているかななどの確認☑	特に要望はなかったので、毎年意見としてあがりが必要な説明のスピードを調整しました。☑ 実例、課題を取り入れ丁寧な指導を心掛けました。	理解力のあるクラスだったので、躓いたところのフォローをするとスムーズに課題提出が行われました。☑ 授業の導入に色彩の歴史、エピソード、色彩のクイズなども取り入れ、勉強だけでなく楽しく会話できる雰囲気づくりを積極的に行いました。☑ 今後はより参加型のワークを作成していこうと思います。
		パーソナルカラー	人数が多く、にぎやかなクラスだったため理解がどこまで及んだかの確認をするため。	説明の説明が一度では不十分だと感じたので、同じ説明ではなく、角度表現を変えて説明を行いました。	ファッションに対するハードの下げ方、理想とする自己表現ができるようになった。☑ ワークを共有することで自分の知らないブランドなどテクニックなどを楽しんで学ぶことにつながったと思う。☑ 今後はグループワークをもう少し積極的に行えるようにしていきたい。
ラ	林 真千子	子どもの食と栄養	同一科目を2クラス担当させて頂いておりますが、このクラスは比較的静かに授業を受講していた為、☑ 学生達の意見を知りたいと思い対象に選びました。	中間アンケートでは、配布プリントの書き方について改善の指摘を受けた為、以降は学生が理解しやすいように工夫しました。☑ 又、視聴覚教材を見せる時の教室の電灯について指摘があり、その後は学生の様子を見ながら柔軟に対応しました。	学生達の定期試験結果を見ますと、良く出来た人の割合が残念ながら低く、到達目標の達成度は全体的に悪いように思われます。☑ 今後の課題と致しまして、授業の積極的な参加を促す授業展開を行い、授業の習得度を上げたいと考えます。
		食の歴史と文化	この科目を担当させていただいてからまだ日が浅い為、今後の授業改善に役立てたいと思い対象に選びました。	中間アンケートでは、特に要望がなく満足しているという結果でしたが、☑ 視聴覚教材や食品の実物を見せたり、手に取らせることで授業内容の習得度を上げるように工夫をしました。☑	学生達の感じる到達目標の達成度と成績結果は比例しており、到達目標はどの学生もほぼ達成されたと思われます。☑ 今後の課題と致しましては授業課題の発表などを行い、学生達の授業への積極的な参加を促したいを考えます。

教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ 伴 裕果	キャリアプランニング [A]	本科目が講義演習双方の形式で、学生と教員の双方向性のある授業を行うことによって学習成果を上げることが目的としたものであり、その振り返りを行いたいと考えたため。	中間アンケートでは、「課題が多い、他者前で表現するのが難しい、指導が厳しい」等があがった。☒ 本科目の目標達成基準の履歴書作成とその口頭発表は、学生にとって自己内省とその言語化、表現は心理的にも困難を伴うものである。学生の声を踏まえた改善策として、授業中と課題添削において口頭、文章による個別対応を一層増やし、作成と考察を反復させることで、徐々に抵抗感を低め、内省を深めより適切に表現できるように指導した。厳しい指導については、それにより受講態度を見直し反復実践することで就職活動における必要なマナーが身につくこと等その意義を都度説明して引き続き実施し、83%以上の学生から改善が見られたとの回答を得た。☒	成績は秀、優、良の計が66%、可16%で、目標を達成度に対したと答えた学生が88%であり、傾向は合致する一方で66%以上が授業外学習が1時間未満である。評価の高い学生は授業での積極性が高いとともに課題回答の充実度が高い。これは授業姿勢はもとより、授業内外における反復練習や調査検討、考察にかかる時間と関係があると推測できる。これらはこまめな声掛けによって個々の状況を観察し把握しながら個別、全体それぞれの形でのフィードバックを行うことを繰り返すことが効果的であると考えている。今後もそれらを行い、授業内外における積極的な参加、主体的に予習復習に取り組むための声掛けやワークなどについての工夫を検討、実施したい。
	キャリアプランニング [B]	本科目が講義演習双方の形式で、学生と教員の双方向性のある授業を行うことによって学習成果を上げることが目的としたものであり、その振り返りを行いたいと考えたため。	中間アンケートでは、「課題が多い、他者前で表現するのが難しい、指導が厳しい」等があがった。☒ 本科目の目標達成基準の履歴書作成とその口頭発表は、学生にとって自己内省とその言語化、表現は心理的にも困難を伴うものである。学生の声を踏まえた改善策として、授業中と課題添削において口頭、文章による個別対応を一層増やし、作成と考察を反復させることで、徐々に抵抗感を低め、内省を深めより適切に表現できるように指導した。厳しい指導については、それにより受講態度を見直し反復実践することで就職活動における必要なマナーが身につくこと等その意義を都度説明して引き続き実施し、71%以上の学生から改善が見られたとの回答を得た。☒	成績は秀、優、良の計が46%、可8%で、目標を達成度に対したと答えた学生が79%であり、アンケート回答率58.3%から成績上位者の回答が多いと推測すると傾向は合致する。71%以上が授業外学習が1時間未満であり、評価の高い学生は授業での積極性、課題回答の充実度が高いことを鑑みると、授業姿勢はもとより、授業内外における反復練習や調査検討、考察にかかる時間と関係があると推測できる。今後はよりこまめな声掛けと個々の状況の観察、把握、個別、全体それぞれの形でのフィードバックを繰り返すことで授業内外における積極的な参加、主体的に予習復習に取り組むための声掛けやワークなどについての工夫を検討、実施したい。
ラ 黒田 恭史	文書処理演習Ⅱ	多人数の科目であるため。	学生の学習進度に応じて授業のスピードを調整した。	おおむね達成された。
	文書処理演習Ⅱ	多人数の科目であるため。	学生の学習進度に応じて授業のスピードを調整した。	おおむね達成された。

教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ 田尻 良	マルチメディア演習	選択肢が2科目しかないため	中間アンケートで改善要求がなかったため、学生がより興味を持ちそうな話題を織り込むことなどの工夫を施した。	概ね達成できたと学生も自認できており、提出された成果物からも達成度は概ね満足のいくものであった。
	マルチメディア論	選択肢が2科目しかないため	中間アンケートで改善要求がなかったため、学生がより興味を持ちそうな話題を織り込むことなどの工夫を施した。	授業への取り組みが熱心な学生に関しては、概ね達成できたと学生自身自認しており、提出されたレポートからも達成度は概ね満足のいくものであった。☑ ただし、毎回のことではあるが、授業に対して意欲がまったく感じられない学生が一定数在籍しており、幸い他の生徒に迷惑をかけるということはないが、☑ これらの学生に、より興味を持ってもらうための工夫は、今後も鋭意続けていきたいと考えている。
ラ 柳 慎之介	hiphop II	アンケートを実施したため。	一人一人に対してのアドバイスを増やす。	きたいと思える授業作り。
	street II	アンケートを実施したため。	一人一人に対してのアドバイスを増やす。	きたいと思える授業作り。
ラ 岡本 久仁子	文書処理演習III	受講人数が多く、欠席者が少ない授業だったので選んだ。	一部学生から、説明を少しゆっくりして欲しいとあったので、そう心がけた。	ほとんどの学生は目標に到達していたが、欠席した分の授業内容をそのままリカバーせずに終わってしまい、目標を達成できなかった学生もいた。☑ 欠席者に対して、自主学習するよう、促していきたい。
ラ 田端 拓哉	社会心理学	担当がこの科目のみであるためです。	声が聞き取りにくいという要望については、マイクの使用によって対応しました。☑ 声の大きさについては今年度のみならず要望があるため、今後は最初からマイクを使用することにします。☑ その他の要望については、社会心理学の知識習得という科目内容に合致しないものだったため、対応できない理由について説明しました。	印象による成績評価は行っていないにもかかわらず、概ね取り組みのまじめさの印象に応じた成績となりました。試験の成績から、シラバスの到達目標をある程度達成できたと考えます。☑ 中間アンケートで要望を寄せた学生は1名でした。☑ 無気力はまだしも、徒に反抗的な態度を取られて対応に苦慮した履修生が1名おり、その中間アンケートで要望を寄せてきた履修生かと思われました。言っても聞かせても態度を改めないならば、1コマの中では手の施しようがなく、今年度は特に現在の授業方法の限界を感じさせられました。☑ 他の科目では期末試験を実施しない科目が多い様子ですので、それを参考に、到達目標と評価方法の変更を検討します。

教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ 伏木 真理子	ビジネス・医療のための英会話	2023年度後期の担当授業がこの科目のみなので。	一定のリズムに単語や英文を乗せて発音するチャンツ（Chants）が、楽しく学べると好評なのでより取り入れるようにした。また、英語の歌も聞いたり、歌ったりする機会を持つようにした。	授業評価アンケート結果で、シラバスの目標の到達については、達成できたが75%、達成できなかったが25%と分かれ、それがそのまま成績に反映される結果となった。校舎内の施設への行き方を、実際に身体を動かしながら英語で案内するアクティビティは、これに関する英語のフレーズの定着がとても良いので、今後も続けていこうと思う。テキストの音声ファイルをダウンロードしていない学生がおり、それが予習・復習などの時間の少なさの要因の一つと思われるので、授業時に時間をとってダウンロードするようにしようと思う。
ラ 兵頭 眞由美	ビジネス文書	2023年度後期の担当科目は、この科目のみでした。	中間アンケートでは、全員から改善してほしい点は「ない」との高評価をいただきましたが、 <input checked="" type="checkbox"/> 学生さん、それぞれの苦手なところを確認し、さらに細かくアドバイスしながら授業をすすめました。	アンケートと最終評価によりシラバスの到達目標も達成できたと考えます。 <input checked="" type="checkbox"/> 今後のクラスでも、さらに理解を深めてもらえるよう、課題、小テスト、授業の進め方などを工夫してまいります。 <input checked="" type="checkbox"/>
ラ 寺石 佳世	調理学演習	15回授業を担当しているクラスがこのクラスだけであるから	中間アンケートで、調理実習の途中での解説より、事前に解説して欲しいという意見が出たので、可能な限り事前に解説を入れた。	授業評価アンケートに回答した学生さんが少ないため、何とも言えないが、 <input checked="" type="checkbox"/> 提出されたレポートを見た限り、しっかり取り組んで、レポートを完成させていました。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成している学生さんが多いように感じます。
ラ 三埜 保	世界観光地巡り	この科目のみの担当の為	楽しい、わかりやすだけでなく将来、転職した際や私生活の様々な状況や場面で実践として生かせるよう、実務を交えて講義を進める工夫をした。	定期試験より考察すると理解度は、ある程度高いと思われる。積極的な授業参加もありシラバスの目標達成にも繋がった。
ラ 藤堂 隆司	診療情報管理論A	1科目のみ	中華アンケートにおいて、これといった学生の意見・要望はなかったが、ミニツツペーパーを用いた小テストや医療統計演習を行い、なるべく授業に飽きさせない学生参加型授業に取り入れた。	最終試験の成績（評価）では、秀：85%、優：15%という結果であり、ほとんど達成10%、かなり達成80%、少し達成10%が示すとおりシラバスの到達目標は達成できた。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	数藤 晶子	食空間のデザインと演出	中間アンケートを実施し、ほぼ全員の回答を確認できたため。	1年生より2年生授業態度が悪く、迷惑との指摘があったため、席替えなど実施したり、個人的に注意をするようにした。授業で板書をしてもらう時間を☒ゆっくりとることが出来ず、ノートにうつしきれないとの声があったので、意識をして時間をとるようにした。全員がうつすことができたかどうか確認をして、次に進むようにした。☒	2名のアンケート結果しか確認できなかったが、一人が達成できなかったとの回答があり、残念であった。出席回数や授業への取り組みにバラツキが☒あり、小テストや課題の取り組み内容のみでも到達していないと感じている学生が他にもいると思われる。欠席した日のフォローなどをどのように一人ひとりに実施するのか課題である。
ラ	松谷 治代	製菓演習	後期はこの科目のみ担当のため	中間アンケートでは、概ね学生は満足していると答えてくれたので、継続して満足してもらえるようにしました。☒	各自、到達目標に達成したように見受けられた。
ラ	黒川 圭子	スポーツII	担当科目がこの科目だけなので選択した。	学生の回答は、楽しい、暑い(教場環境)など所感的な表記がほとんどで、具体的な要望や意見は見られなかった。☒ 限られた使用種目の活用となるため、学生にできるだけ飽きさせず運動量をこなすためにも、グルーピングやルール内容においては工夫をした。☒	スポーツI、トータルビューティエクササイズの履修者が多く、1年を通して個別のスポーツ技術、体力、協調性や実施態度など見ることができた。☒ 学生の中には、少々中だるみな態度が見られることもあったが、スポーツ中は集中して、勝敗を意識し、基本ルールのみならず改変ルールにも従い、フェアプレーを実践できた。☒ 学生同士、学年の隔たりなしにコミュニケーションも自然に取れていた。☒ バドミントンが初心の学生は、周囲のアドバイスも聞き入れ、他の学生との技量差が縮まり、毎週成長が見られた。☒ 以上の事から、学生は授業を通して、運動スポーツの楽しさについては体現できていたと考える。☒ 運動や身体活動は継続が大切であることや、自主的に身体を動かすことの意義を伝えられたかについては、まだ課題が残る。

教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ 能美 智子	医薬と検査	担当している科目が1つのみです。	90分間は集中力が続かないので途中で休憩があった方がいいとの意見がありました。確かに長い時間を集中するには少しのブレイクタイムがあっても良いと思いますので、状況によりトイレや水分補給のために5分の休憩を入れてみました。また授業時間に余裕のある日は「カルテ作成」などの演習を入れることで学んだことが理解できているか確認をしながら進めました。	シラバスの到達目標ですが、ほとんどの学生が到達できたと回答しているので基本的授業形式はこのまま継続していこうと思います。予習復習の課題については、学生により取り組み方に差があるため指導方法を考えたいと思います。予習復習が30分未満の学生は理解度が低いので小テストにも影響しています。やる気にさせる、又はその時間を確保するためにはどのように取り組めばよいかを、個人ごとに聞き取りながら進めたいと思います。
ラ 瀬口 昌生	プレゼンテーション演習 (PowerPoint)	本授業のみの担当であるため	昼間アンケートについては概ね良好だったため、引き続き学生の士気を下げないように努めた。	指示したテーマに副ってデータ作成をする際、直ぐに自身の感性を発揮できる学生は☑ 作業も早く済ませることができたため、別途時間外学習のテーマを設定することがあった。☑ 授業内では同テーマに対して同時期にプレゼンテーションを実施する必要があるため、☑ 今後は個々の学生の能力に応じてテーマを変えることを検討したい。
ラ 杉本 篤史	簿記基礎	この科目のみ講義のため	講義より問題演習を多くしているため、個々に質問できる時間を多くとった	簿記に基本については理解できたと思う
ラ 白 善暎	ビジネス・医療のための 韓国語	韓国語担当ば授業なので選びました。	学生のレベルに合わせて復習や会話を中心に授業を進めるように工夫をしました。	アンケートの結果と学生の成績、シラバスの到達目標の達成状況を☑ 考えたとき、文字や文法より簡単な会話や学科と関係がある必要な語彙などを中心に授業を行うことが望ましいと思いました。
ラ 前田 志帆子	ギフト・ビジネスラッピング 演習	2023年度後期担当授業はこのクラスのみです。	中間アンケート結果にて、実技は楽しいとの声が多く上がった。しかし、2つの資格取得を目指すため学ぶ範囲がとて多く実技の復習をする時間が欲しいとの声も有った。プリントやスライドを工夫し、実技の復習時間を確保した。次年度は、学びたくなる様更に工夫し更に分かりやすい授業を目指していきたい。	どの生徒も、実技になると真面目に実技に取り組んでいた。概ね目標の達成は出来たと思う。☑ 出来なかった実技が出来る様になったことや、授業内容を提出したノートにて確認することも出来た。☑ 興味を持ち楽しく学べる様、更なる工夫をし取り組んでいきたい。☑